
令和 8 年度 市民まちづくりアンケート 【集計結果】

～あなたの声をまちづくりに～



令和 8 年 7 月
帯広市
(政策推進部企画室企画課)

目 次

01

アンケートの概要

ここでは、アンケートの実施目的や対象、調査方法や期間、回収状況などを掲載しています。

該当ページ・・・1

02

アンケート回答者の属性

ここでは、アンケートに回答いただいた方の性別や年代、職業や居住年数などの属性を掲載しています。

該当ページ・・・2～3

03

帯広市の住みごこち

ここでは、帯広市の住みごこちに関する実感や住みごこちが悪いと思う理由を掲載しています。

該当ページ・・・4

04

帯広市への定住意識

ここでは、帯広市への居住継続意向やその理由などを掲載しています。

該当ページ・・・5～6

05

暮らしぶり

ここでは、アンケートに回答いただいた方の健康状態や運動習慣、地域社会活動の実施状況など暮らしぶりに関することを掲載しています。

該当ページ・・・7～19

06

自由記述意見

ここでは、アンケートで回答いただいた、まちづくりに関する意見や提案等の自由記述を項目別に分類し、件数を掲載しています。

該当ページ・・・20

07

資料編

ここでは、参考資料として、属性毎のクロス集計の結果および市民まちづくりアンケート票を掲載しています。

該当ページ・・・21～

アンケートの概要

● 目的

このアンケートは、帯広市の住みごちやまちづくりに係る市民の皆様の活動・意識のほか、第七期帯広市総合計画に「目指そう指標」として設定した項目について調査することを目的としています。

アンケート結果は、市の取り組みを効果的に進めるための重要な情報として活用させていただきます。

● 内容

このアンケートは、次の2区分について実施しました。

- (1) 帯広市の住みごち・定住意識について・・・(問1～6)
 (2) 暮らしぶりについて・・・(問7～16)

● 対象地域

帯広市内

● 対象者

満18歳以上の帯広市民

● 標本数

3,000人

● 標本抽出方法

無作為抽出

● 調査方法

郵便により発送し、紙及びweb回答により回収

● 調査時期

令和8年4月21日(火)～令和8年5月18日(月)

● 回収結果

実施時期	発送数	有効発送数	回収数			回収率
令和8年度 (令和8年4月 ～5月)	3,000	3,000	1,486			49.5%
			内 訳	紙	1,047	
				web	439	
【参考:前回】 令和7年度 (令和7年4月 ～5月)	3,000	3,000	1,390			46.3%
			内 訳	紙	1,045	
				web	345	

● アンケートの精度

本調査の回収数は、1,486件で、信頼度95%・標本誤差を5%とした場合の統計学上の必要標本数384件を上回り、本調査から得られた分析結果は、帯広市全体としての意見を推定するために、十分な精度を得ています。

【必要サンプル数の算出式】

$$n \geq N \div [(e \div 1.96)^2 \times (N - 1) \times 4] + 1$$

N = 母集団の数(調査対象者数) (=138,115人: 令和8年3月31日現在の18歳以上人口)

e = 標本誤差 (=0.05)

n = 必要標本数

(※ 1.96は上記の信頼係数と標本誤差を設定した場合に用いる統計上の定数)

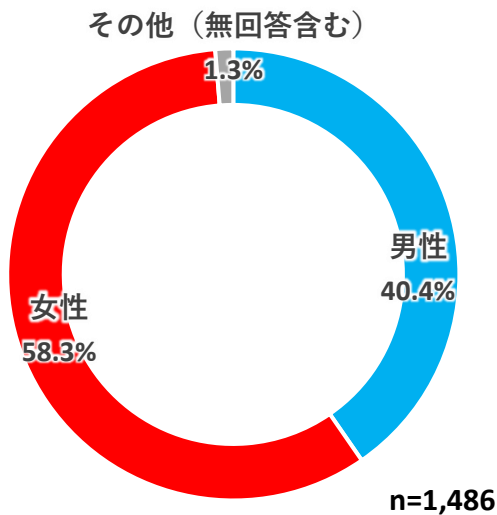
計算の結果、 $n \geq 383.0972\dots$ となり、必要サンプル数は384となります。

● 集計方法

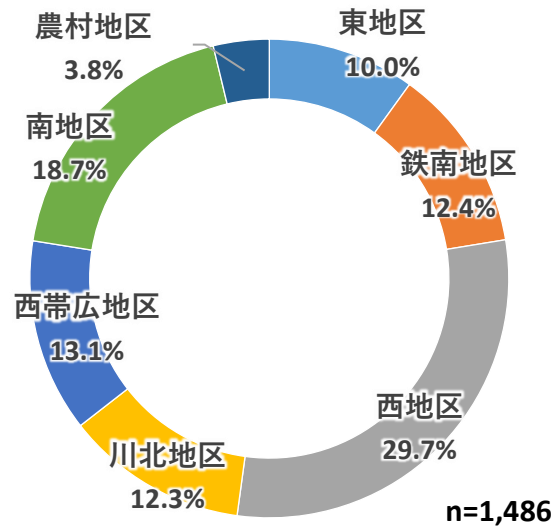
集計の際、小数点以下第2位を四捨五入しているため、数値の合計が100.0%にならない場合があります。また、回答者の属性は無回答を除いています。

アンケート回答者の属性

1 性別



居住地域



●帯広市では行政区域を7地区に区分しています。

西帯広地区：

市街地の西部に位置し、東は西18条通・西10号、西は市町村界、南は南6線、北は十勝川以北の中島地区を含む地区
(西帯広住区・開西住区)

西地区：

市街地の中西部に位置し、東は西8条通、西は西10号、南は自衛隊北側の崖、北は帯広川に囲まれた地区（競馬場住区・緑ヶ丘住区・柏林台住区・白樺住区・広陽住区・若葉住区）

南地区：

市街地の南部に位置し、東は札内川、西は市町村界、南は清流の里を含む稲田3号線、北は売買川・自衛隊北側の崖に囲まれた地区
(豊成住区・南町住区・稲田住区・大空住区)

川北地区：

市街地の北部に位置し、東は国道241号・236号、西は西18条通、南は帯広川、北は十勝川に囲まれた地区
(北栄住区・啓北住区・栄住区)

東地区：

市街地の東部に位置し、東は札内川、西は帯広川・ウツベツ川、南は根室本線、北は十勝川に囲まれた地区
(東住区・駅前住区・柏住区)

鉄南地区：

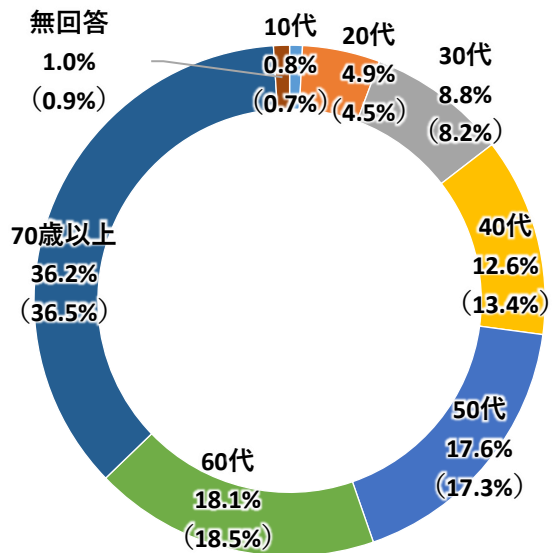
市街地の東南部に位置し、東は札内川、西は西8条通・緑ヶ丘公園、南は売買川、北は根室本線に囲まれた地区
(駅南住区・光南住区・明星住区・緑栄住区)

農村地区：

本市の南部に広大な農業地帯として広がり、東は幕別町、西は芽室町、南は中札内村、北は稲田3号・帯広刑務所以南に囲まれた地区
(大正住区・川西住区)

アンケート回答者の属性

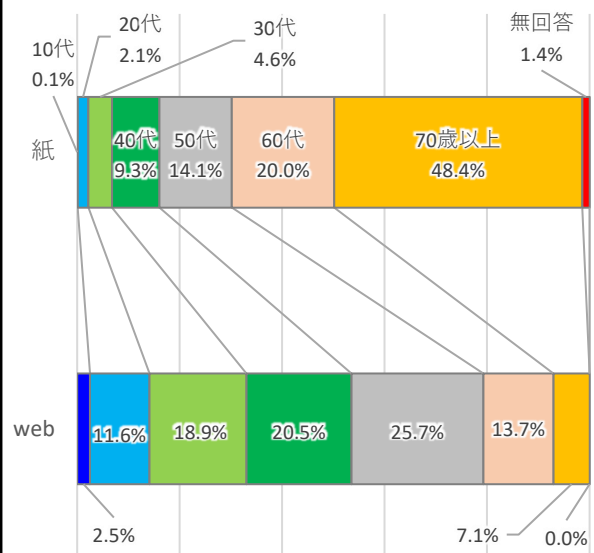
2-1 年齢



n=1,486 (n=1,390)

※カッコ内は前回調査の数値です。

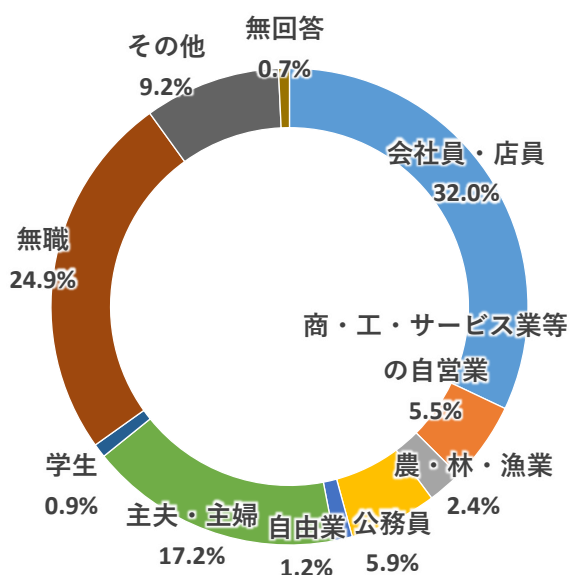
2-2 年齢（回答方法別）



n=1,486

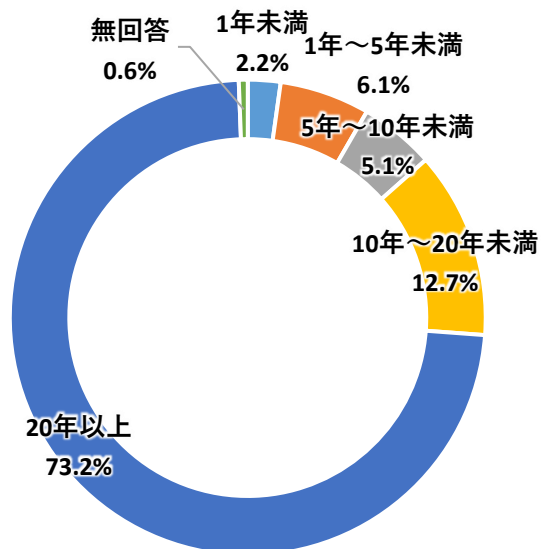
回答方法割合「紙：70.5% Web：29.5%」

3 職業



n=1,486

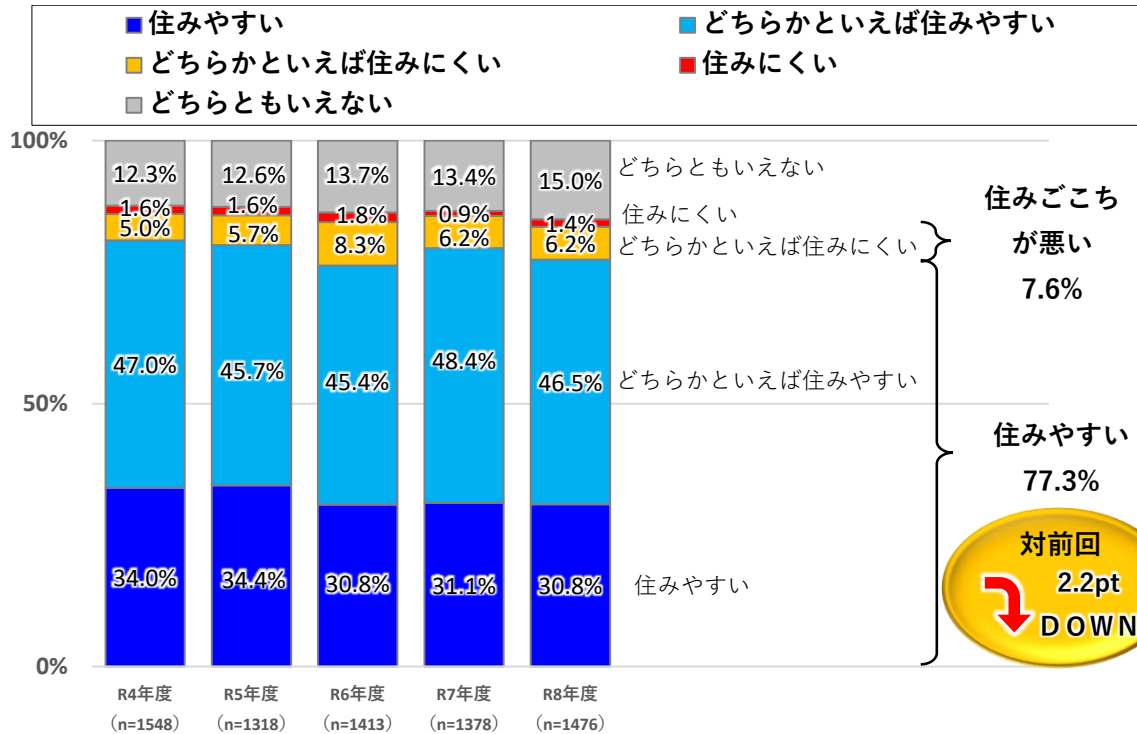
4 居住年数



n=1,486

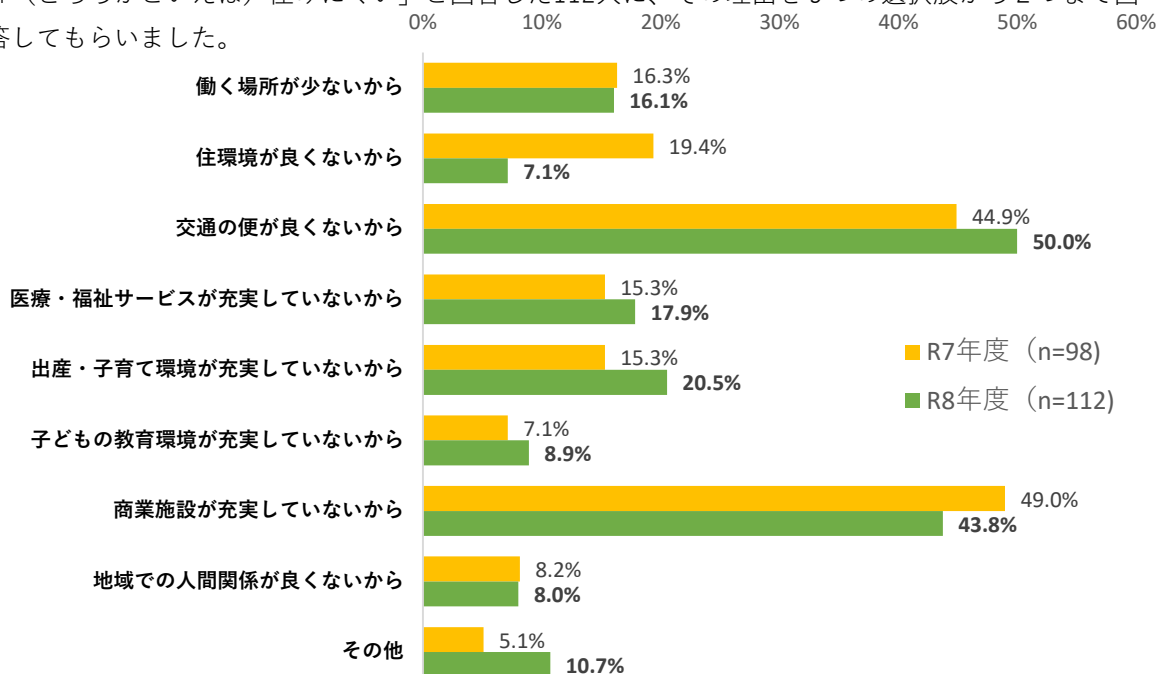
帯広市の住みごこち

5 帯広市の住みごこちは？



住みごこちが悪い理由

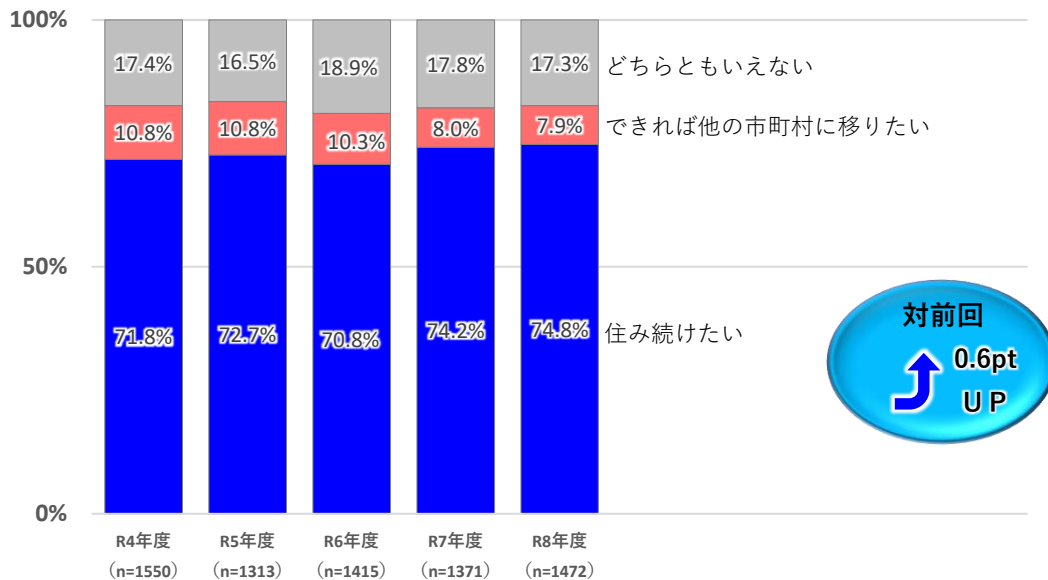
「(どちらかといえば) 住みにくい」と回答した112人に、その理由を9つの選択肢から2つまで回答してもらいました。



帯広市への定住意識

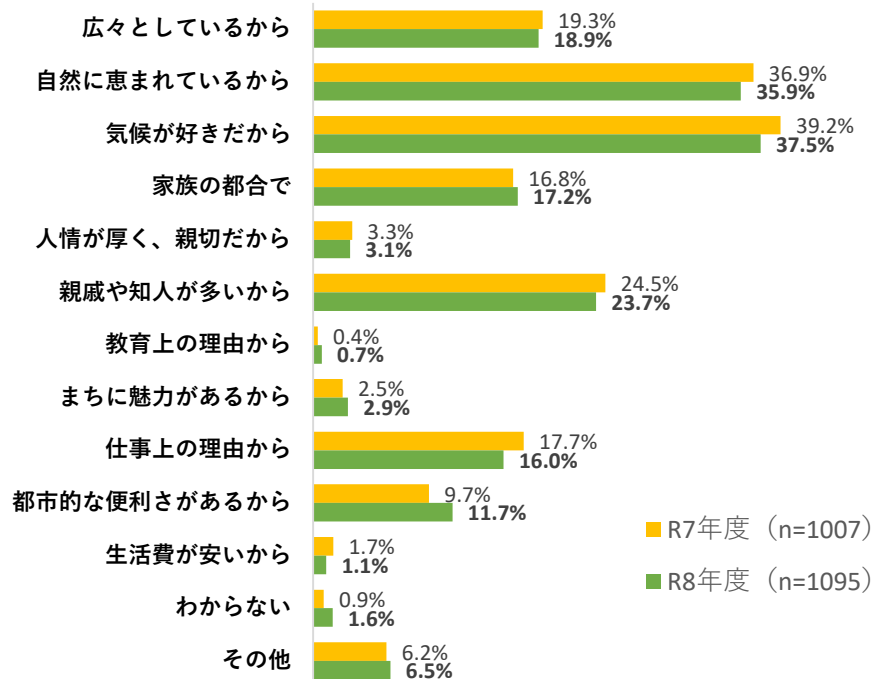
6 これからも帯広市に住み続けたいか？

■ 住み続けたい ■ できれば他の市町村に移りたい ■ どちらともいえない



住み続けたい理由

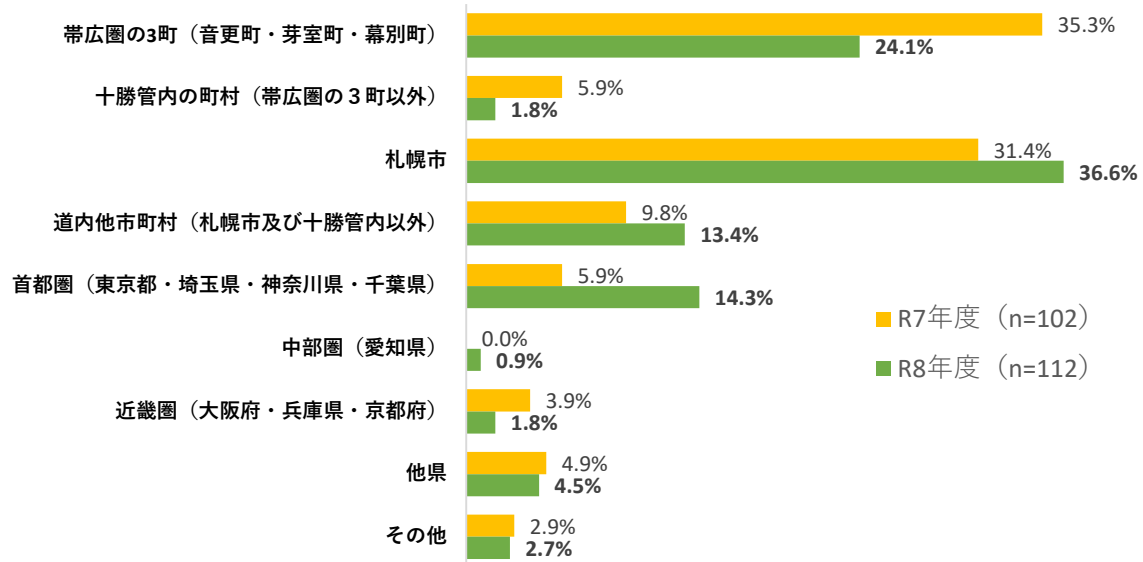
「住み続けたい」と回答した1,095人に、その理由を13の選択肢から2つまで回答してもらいました。



帯広市への定住意識

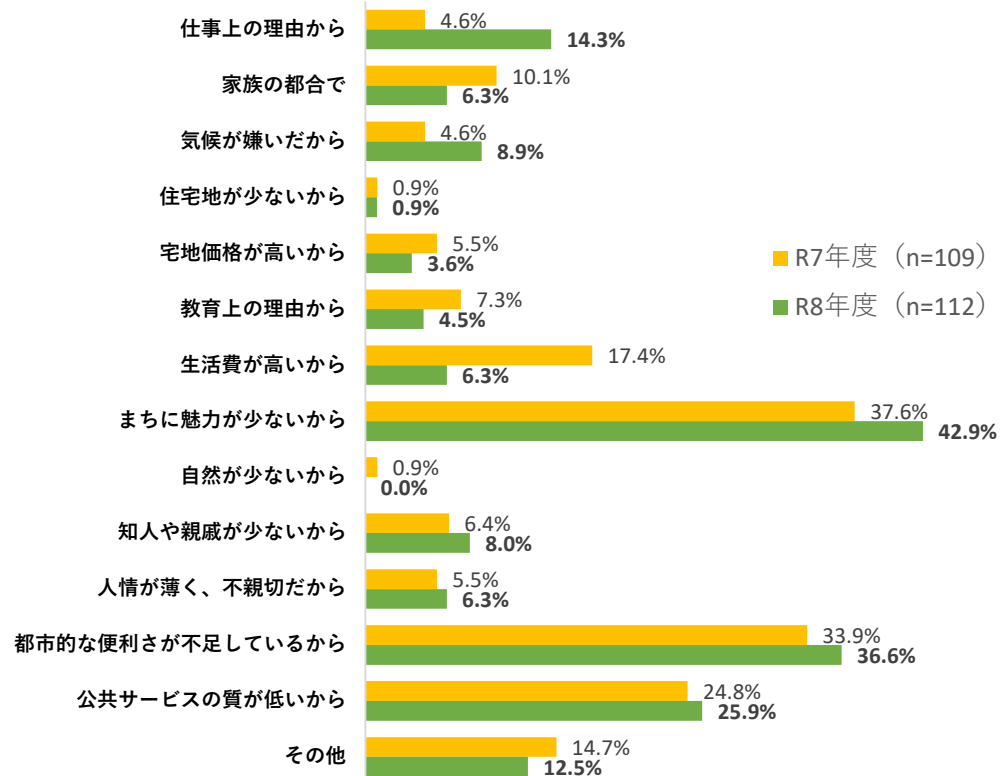
移りたい地域

「できれば他の市町村に移りたい」と回答した112人に、その理由を9つの選択肢から1つ回答してもらいました。



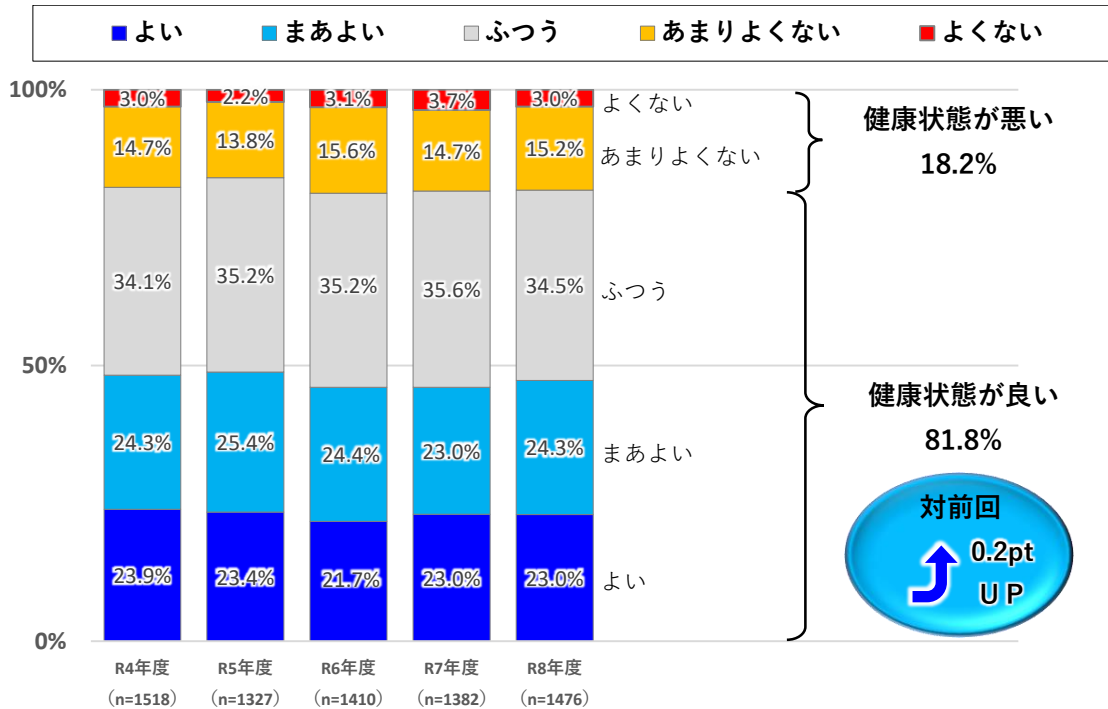
移りたい理由

「できれば他の市町村に移りたい」と回答した112人に、その理由を14の選択肢から2つまで回答してもらいました。

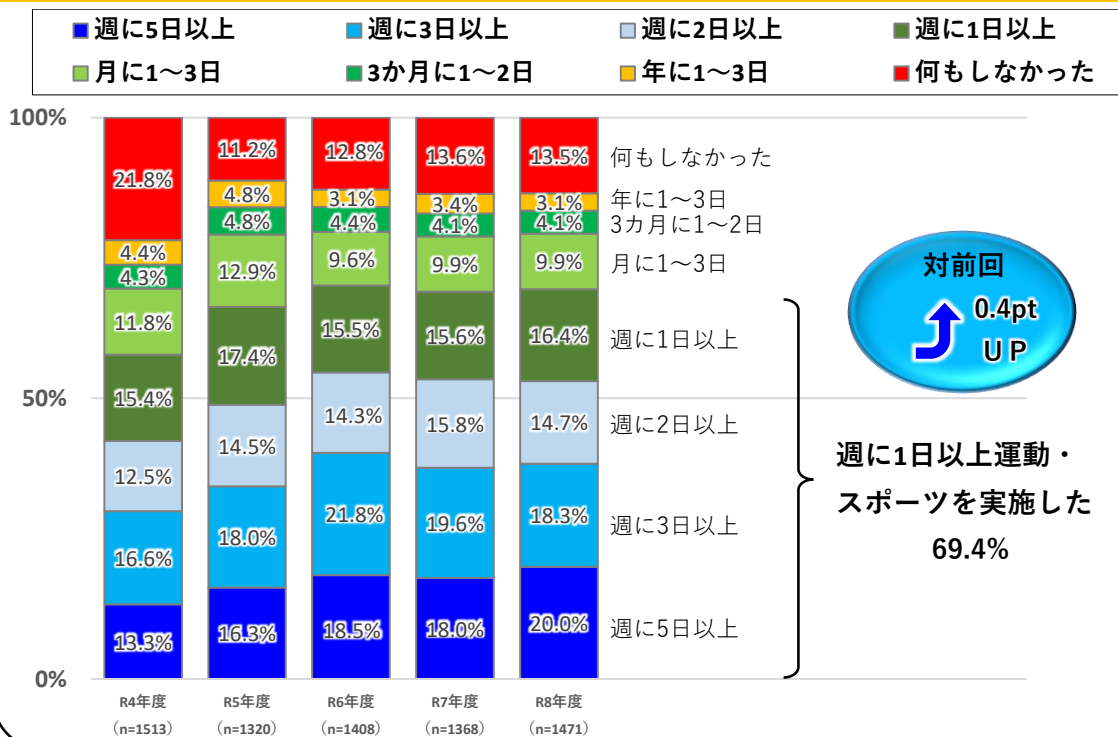


暮らしぶり

7 あなたの健康状態は？



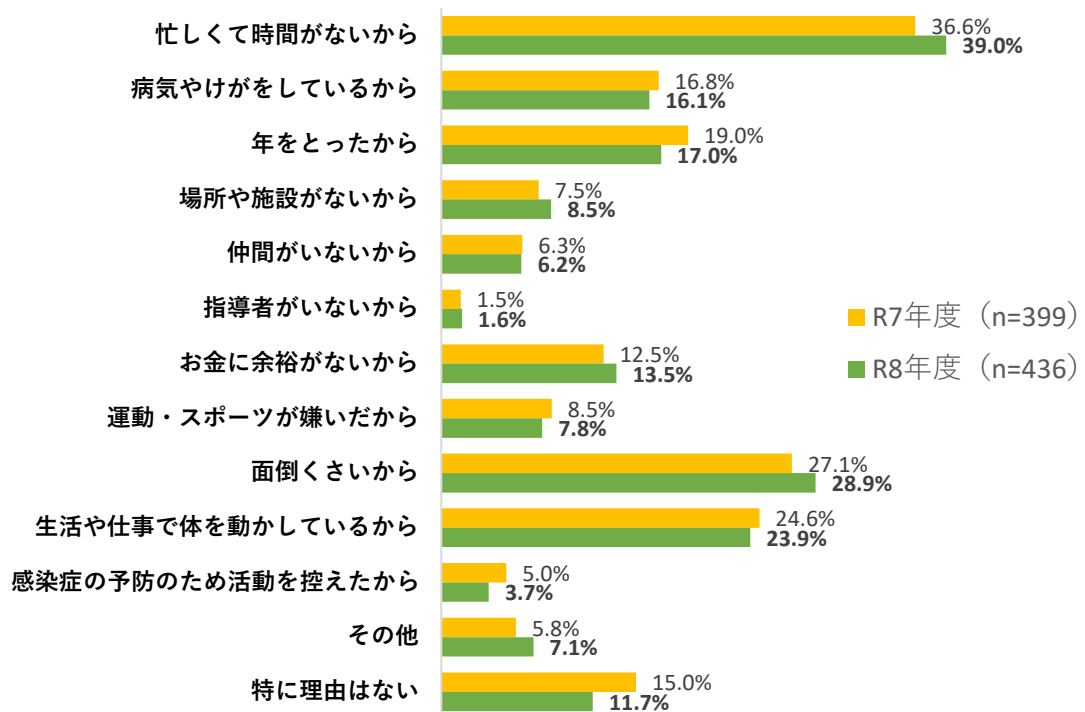
8 この1年間に運動・スポーツをしたか？



暮らしぶり

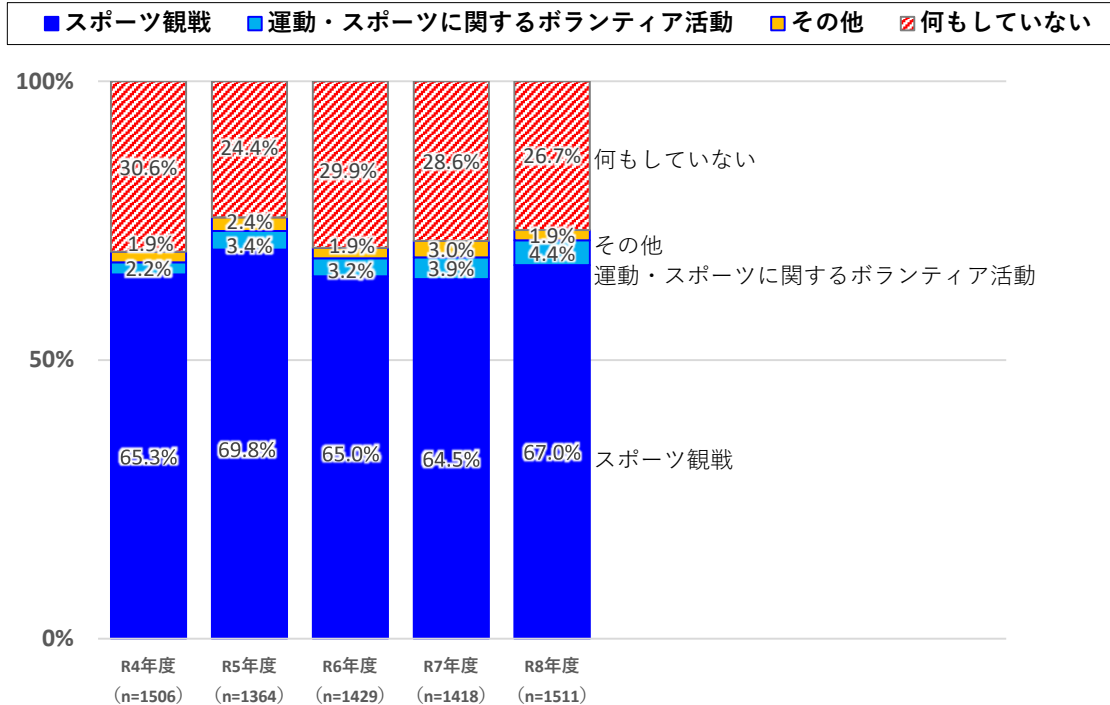
運動・スポーツをしなかった理由

「週に1日以上運動・スポーツを実施しなかった」と回答した436人に、その理由を13の選択肢からあてはまるものをいくつでも回答してもらいました。

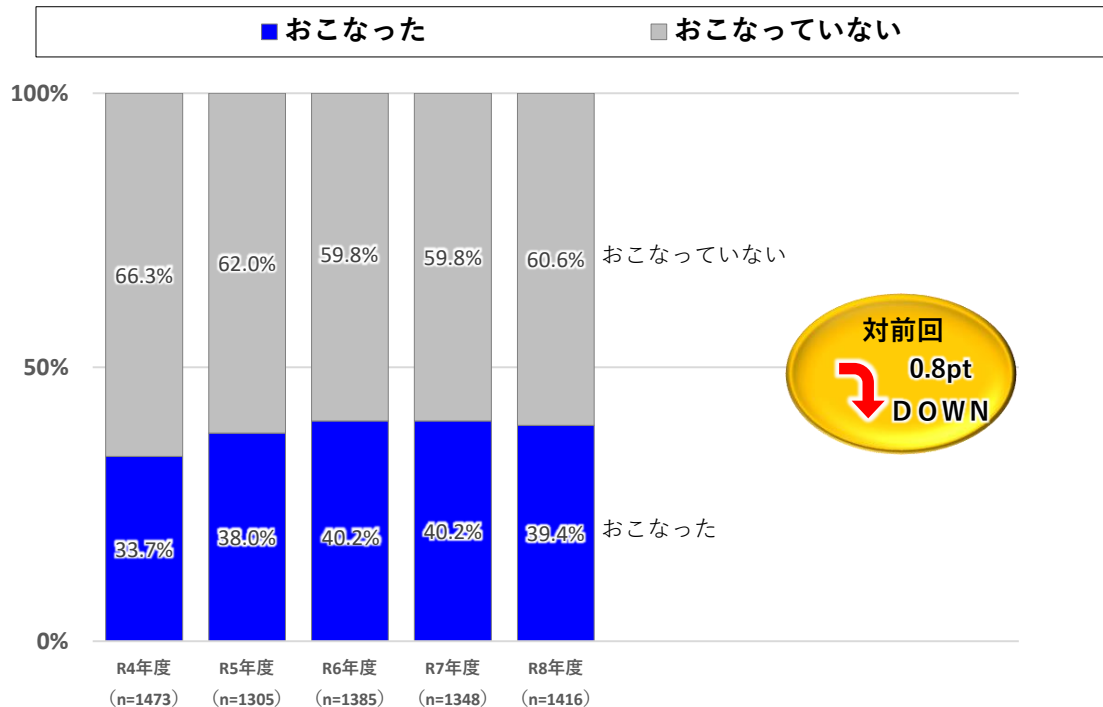


暮らしぶり

9 自らするスポーツ以外のスポーツとの関わりは？



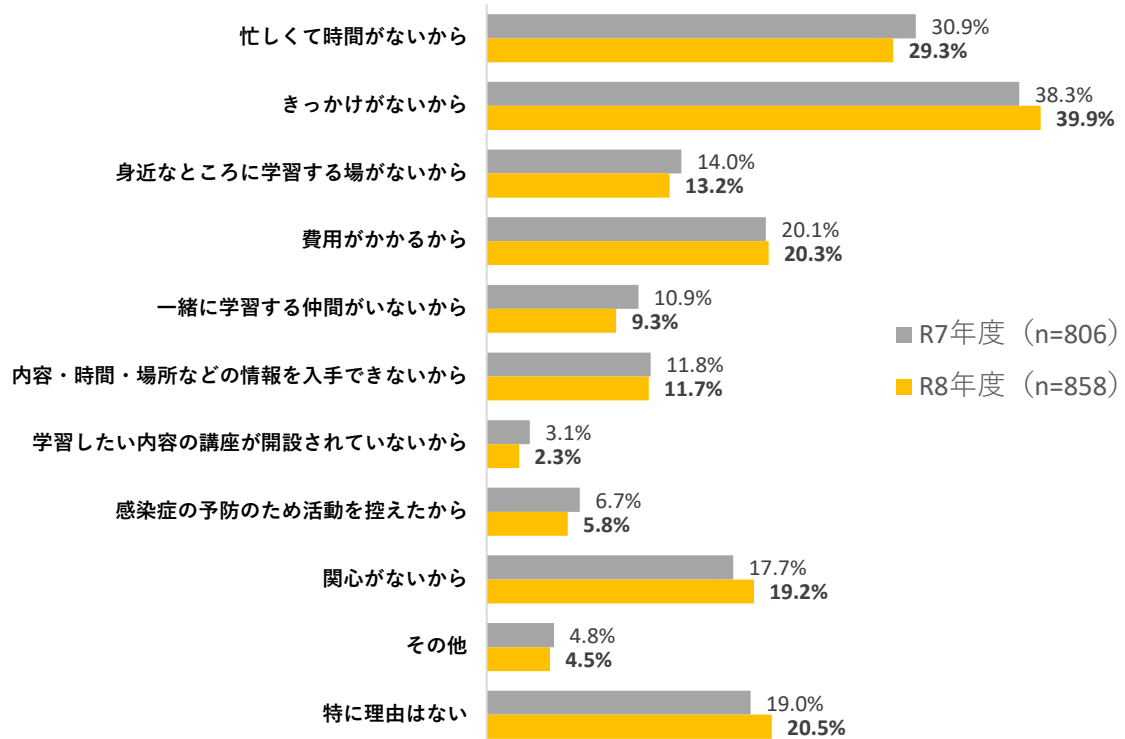
10 この1年間に「生涯学習」をおこなったか？



暮らしぶり

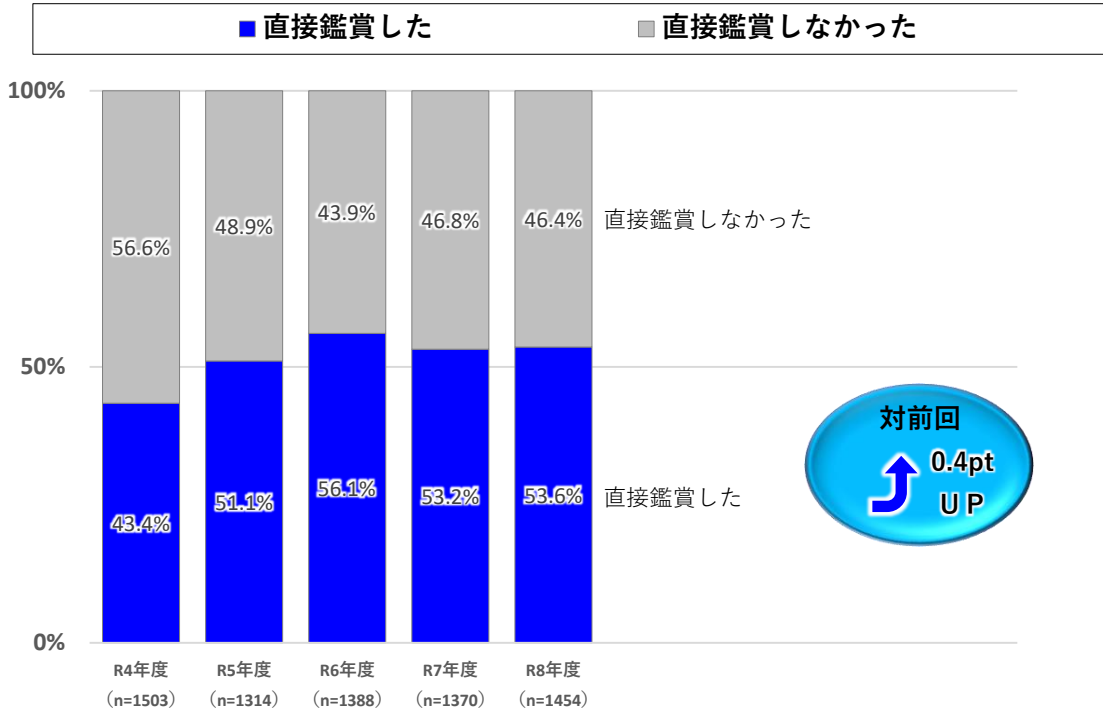
生涯学習をおこなわなかった理由

「生涯学習をおこなわなかった」と回答した858人に、その理由を11の選択肢からあてはまるものをいくつでも回答してもらいました。



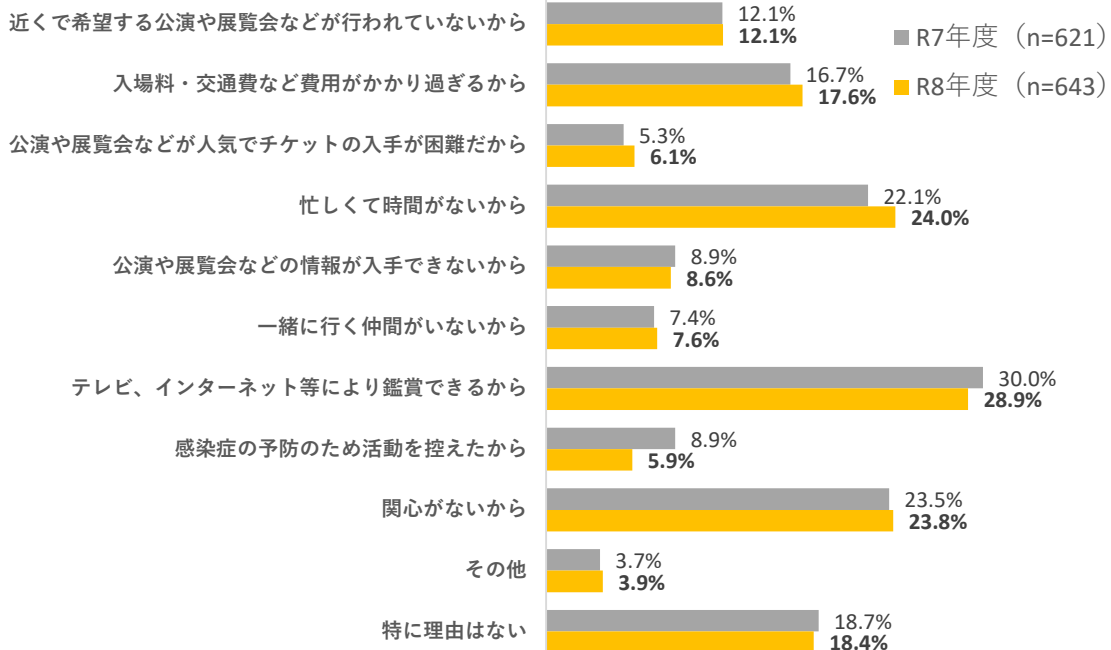
暮らしぶり

11 この1年間に文化芸術を直接鑑賞したか？



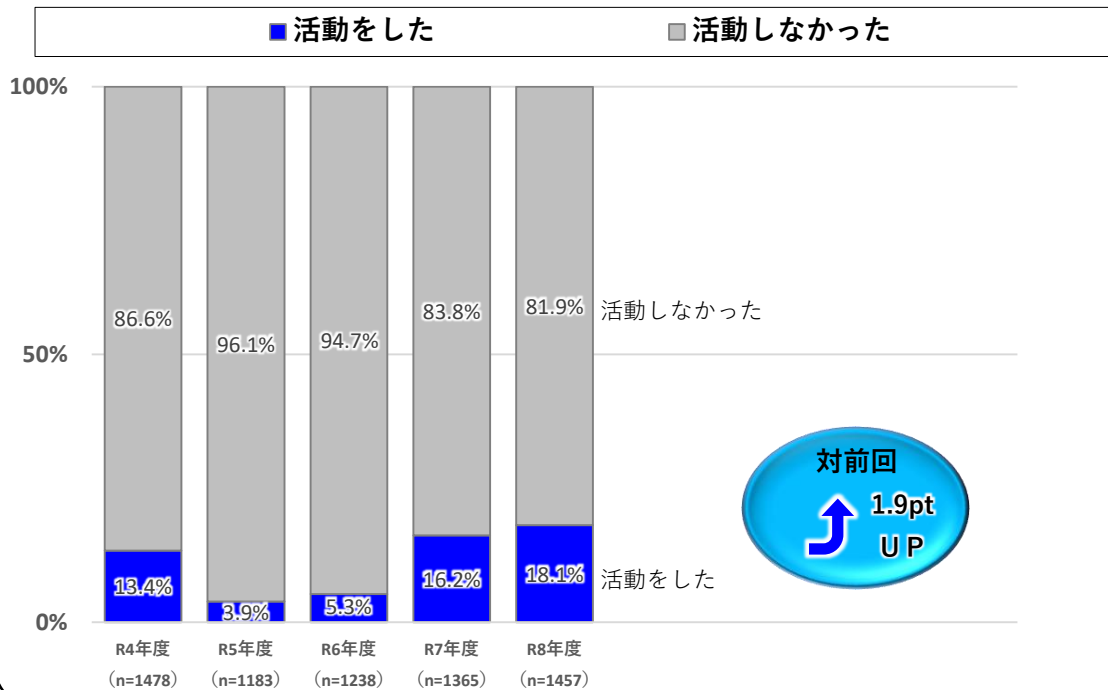
文化芸術を直接鑑賞しなかった理由

「文化芸術を直接鑑賞しなかった」と回答した643人に、その理由を11の選択肢からあてはまるものをいくつでも回答してもらいました。



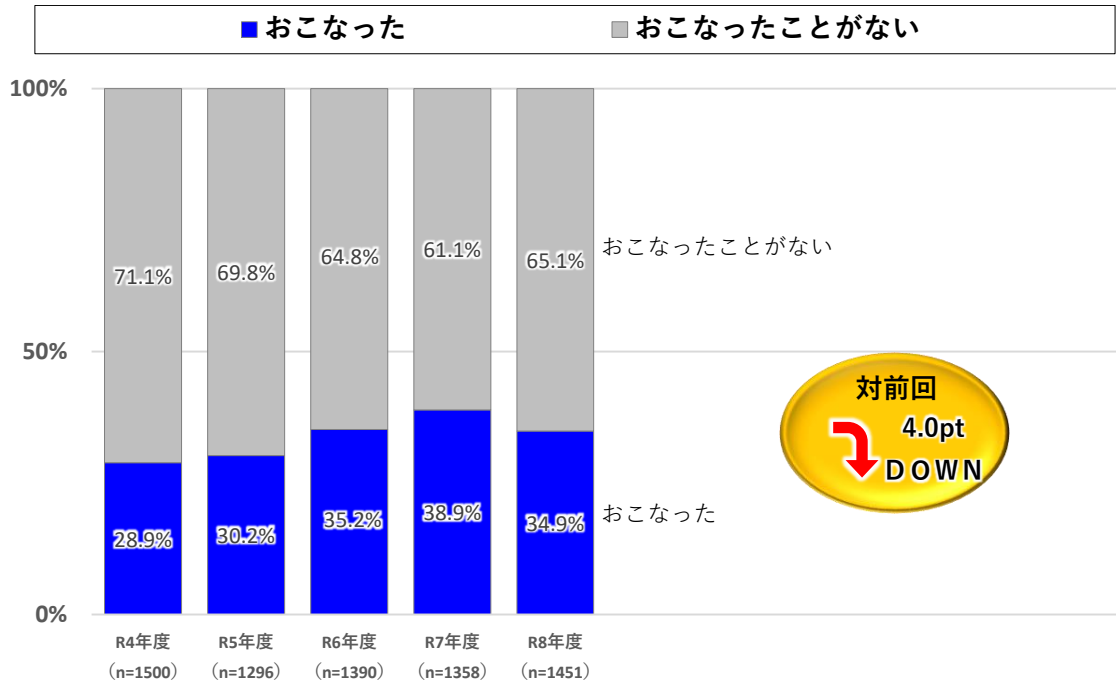
暮らしぶり

12 この1年間に鑑賞以外で文化芸術に関わる活動をしたか？



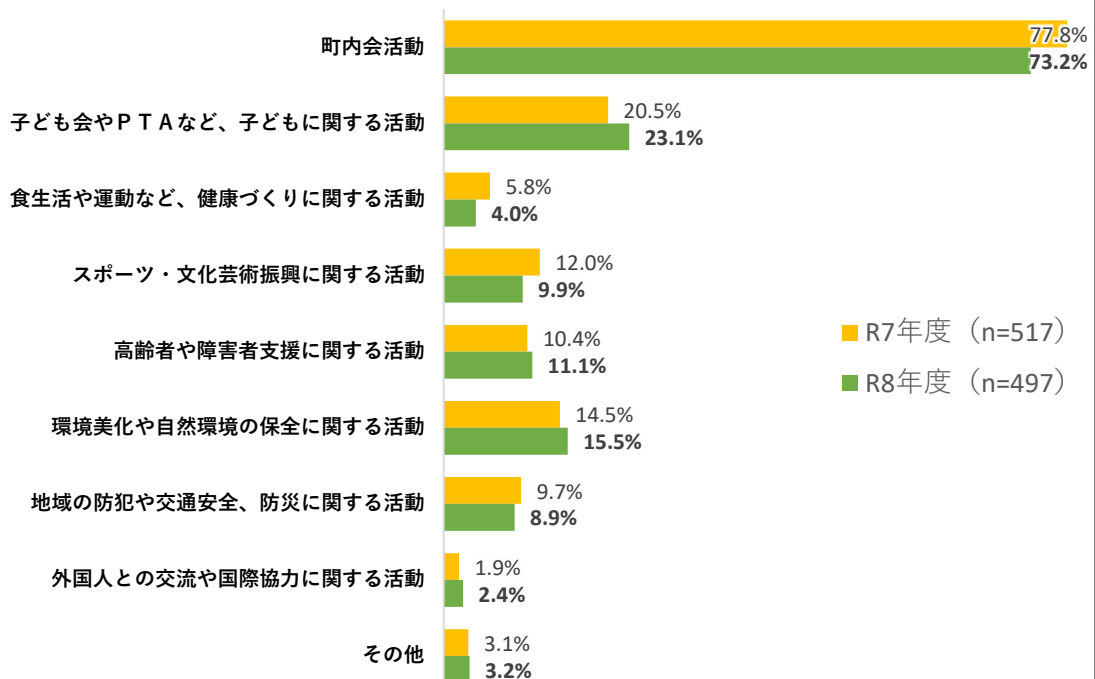
暮らしぶり

13 この1年間に地域社会活動をおこなったか？



この1年の間におこなった地域社会活動

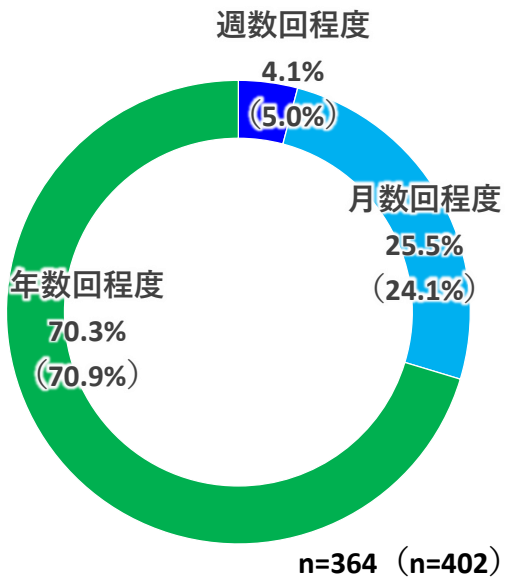
「地域社会活動をおこなった」と回答した497人に、その内容を9つの選択肢からあてはまるものをいくつでも回答してもらいました。



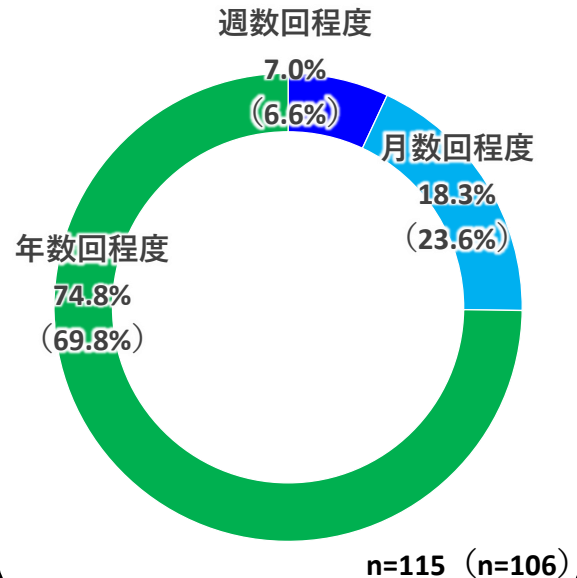
暮らしぶり

地域社会活動の頻度 ※カッコ内は前回調査の数値です。

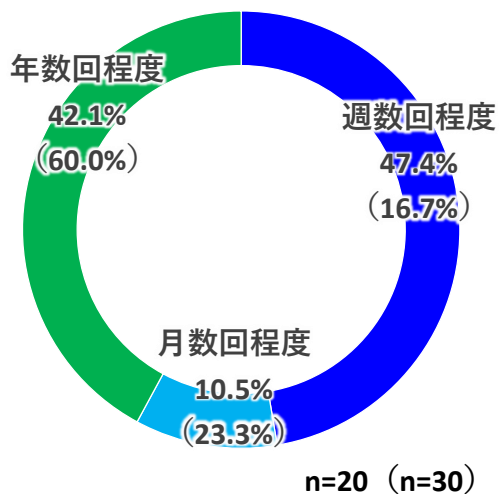
① 町内会活動



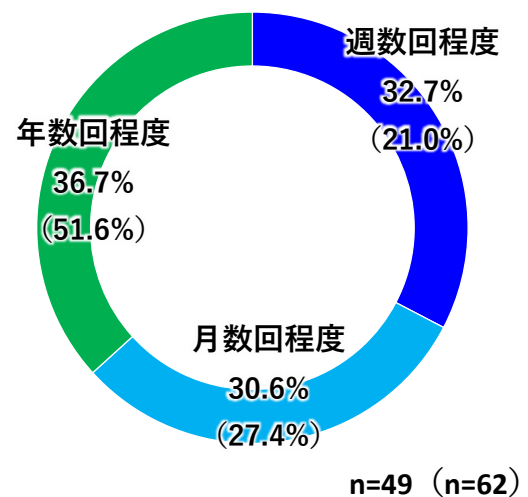
② 子どもに関する活動



③ 健康づくりに関する活動



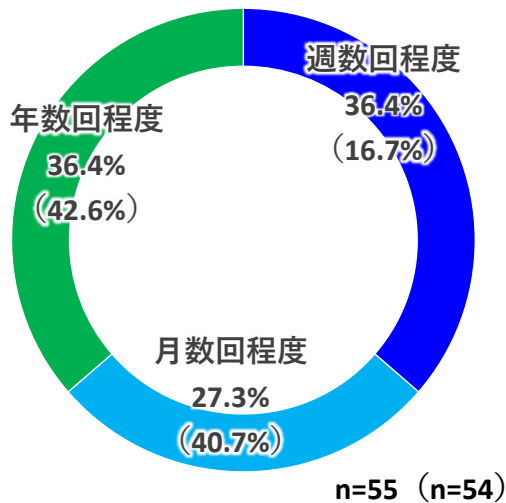
④ スポーツ・文化に関する活動



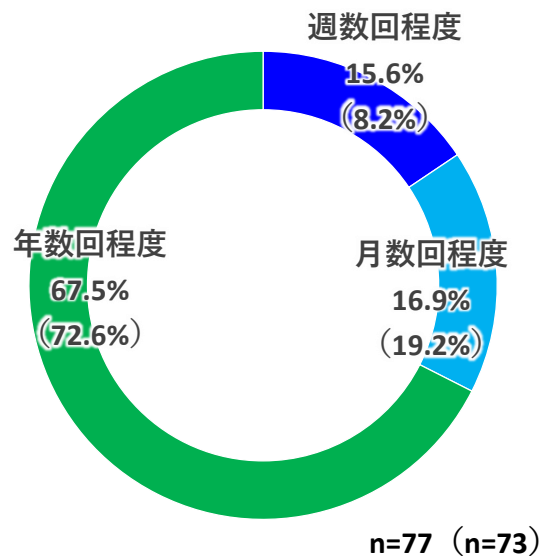
暮らしぶり

地域社会活動の頻度 ※カッコ内は前回調査の数値です。

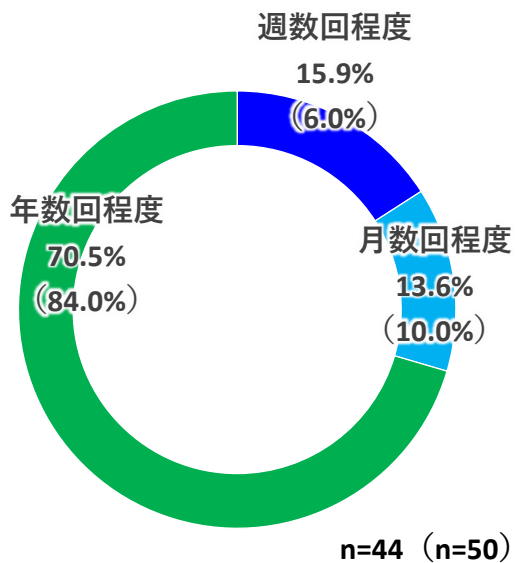
⑤ 高齢者・障害者支援活動



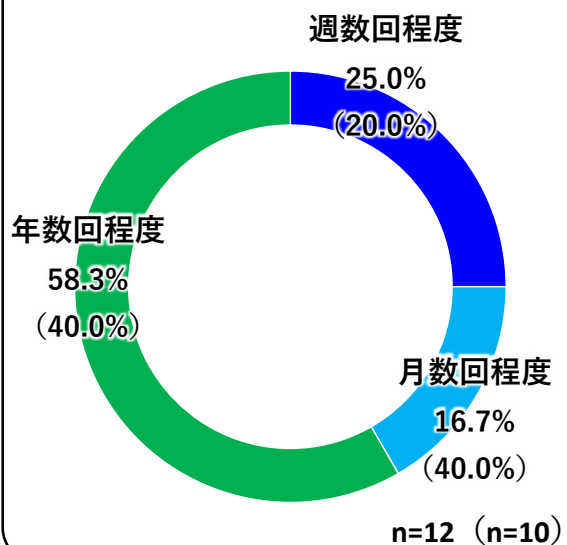
⑥ 環境美化・自然の保全活動



⑦ 防犯・交通安全・防災活動



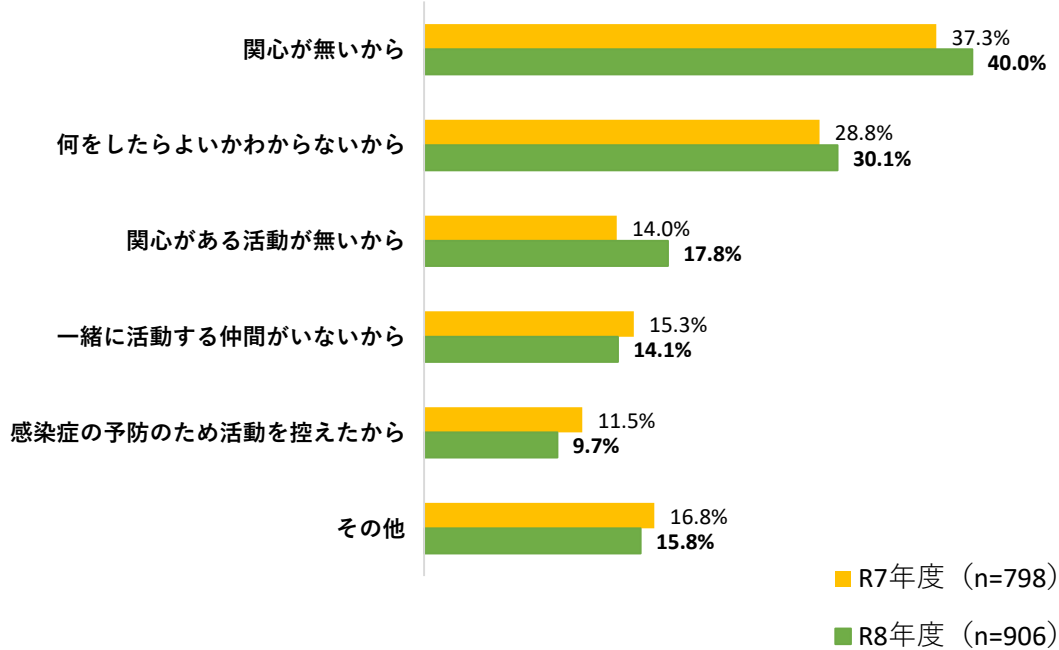
⑧ 外国人交流・国際協力活動



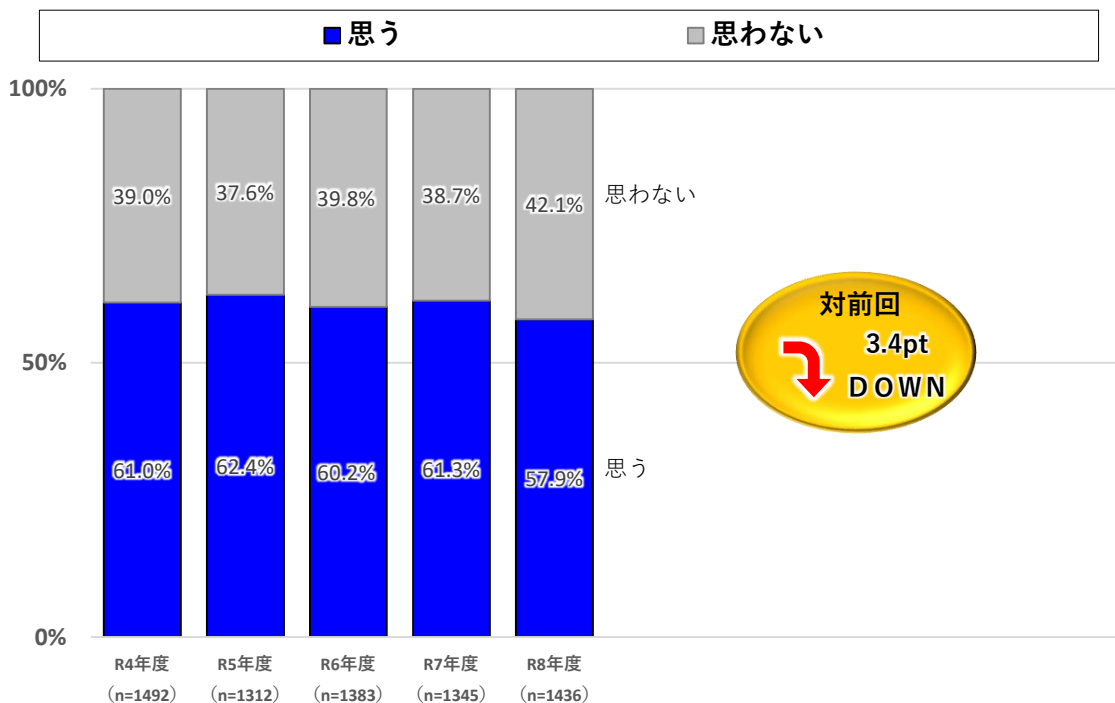
暮らしぶり

地域社会活動をおこなわなかった理由

「地域社会活動をおこなわなかった」と回答した906人に、その理由を6つの選択肢からあてはまるものをいくつでも回答してもらいました。



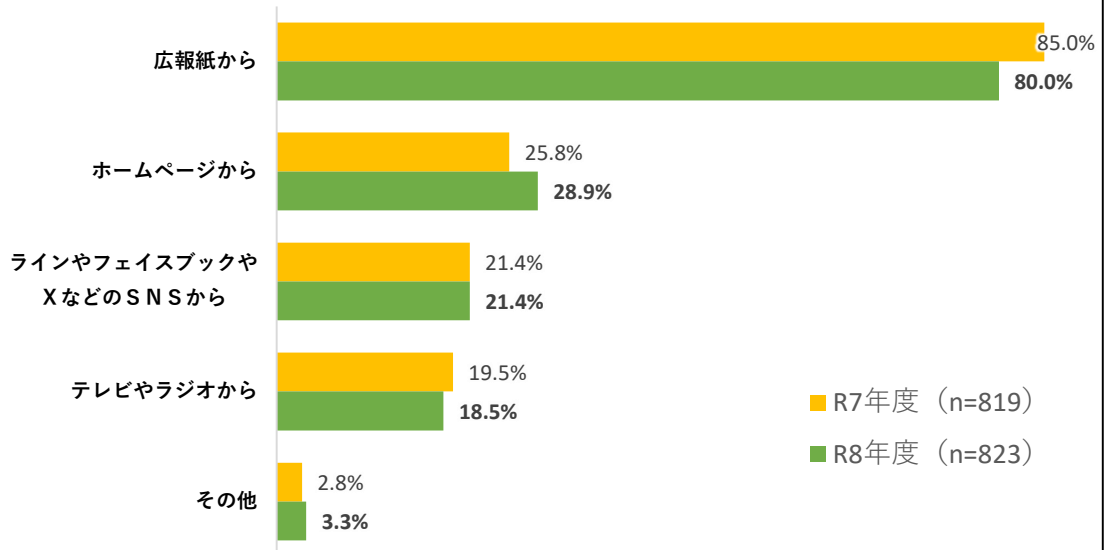
14 行政情報を分かりやすく知ることができると思うか？



暮らしぶり

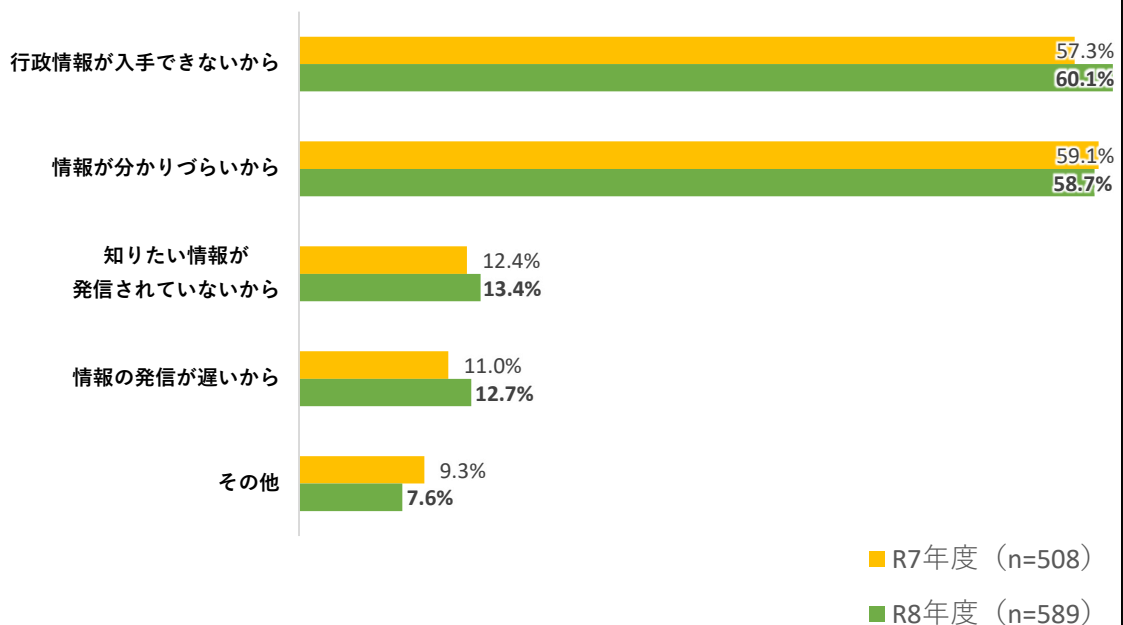
行政情報の入手方法

「行政情報を分かりやすく知ることができていると思う」と回答した823人に、入手方法について5つの選択肢からあてはまるものをいくつでも回答してもらいました。

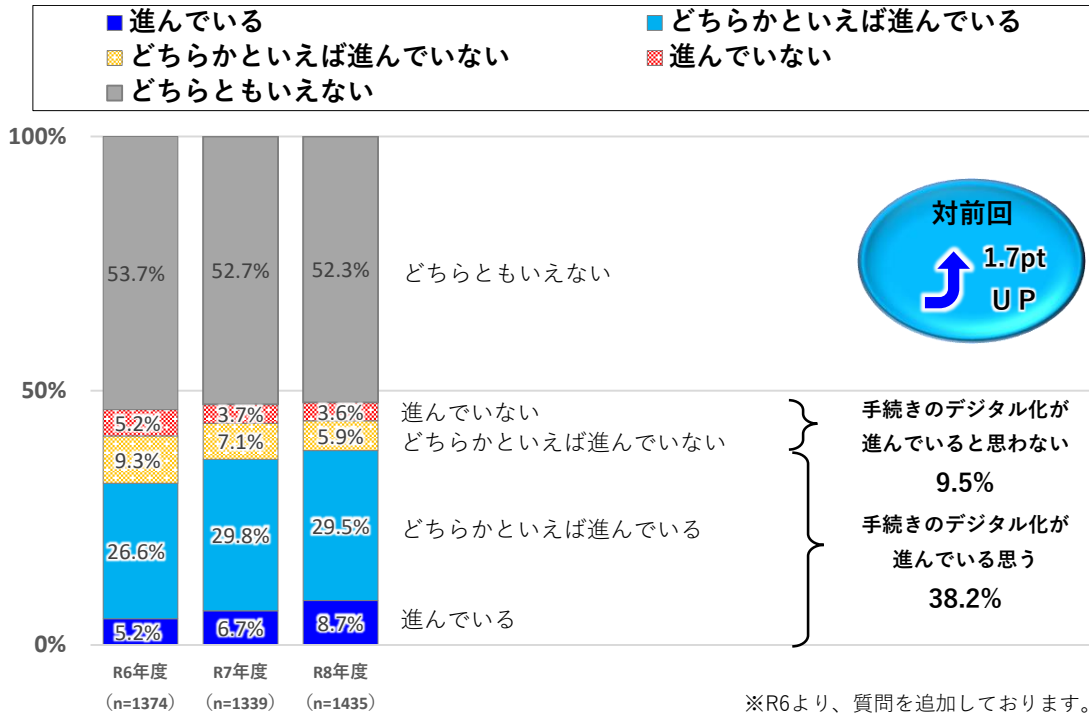


行政情報を分かりやすく知ることができない理由

「行政情報を分かりやすく知ることができないと思う」と回答した589人に、その理由を5つの選択肢からあてはまるものをいくつでも回答してもらいました。

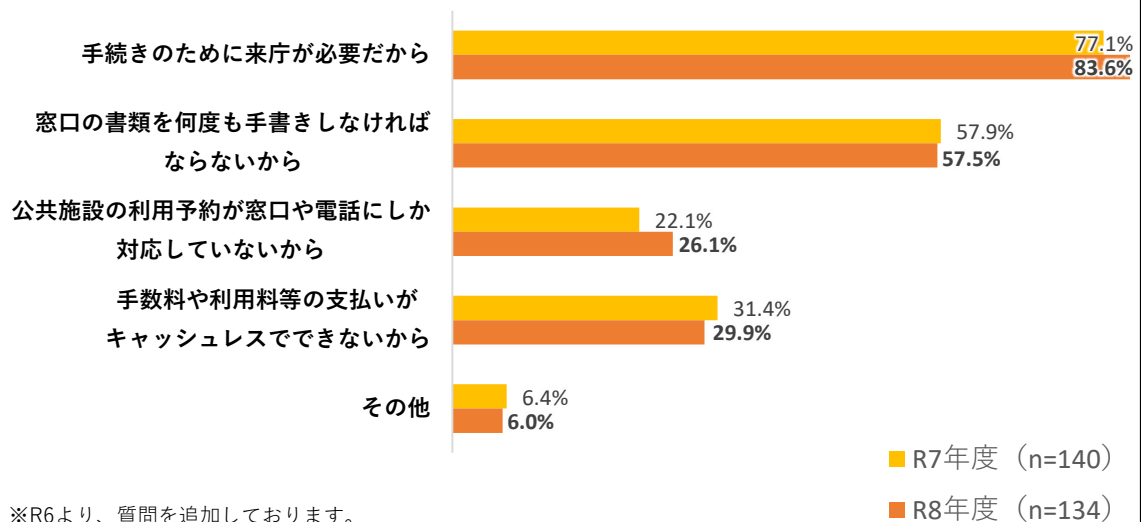


15 市の手続きのデジタル化が進んでいると思うか？



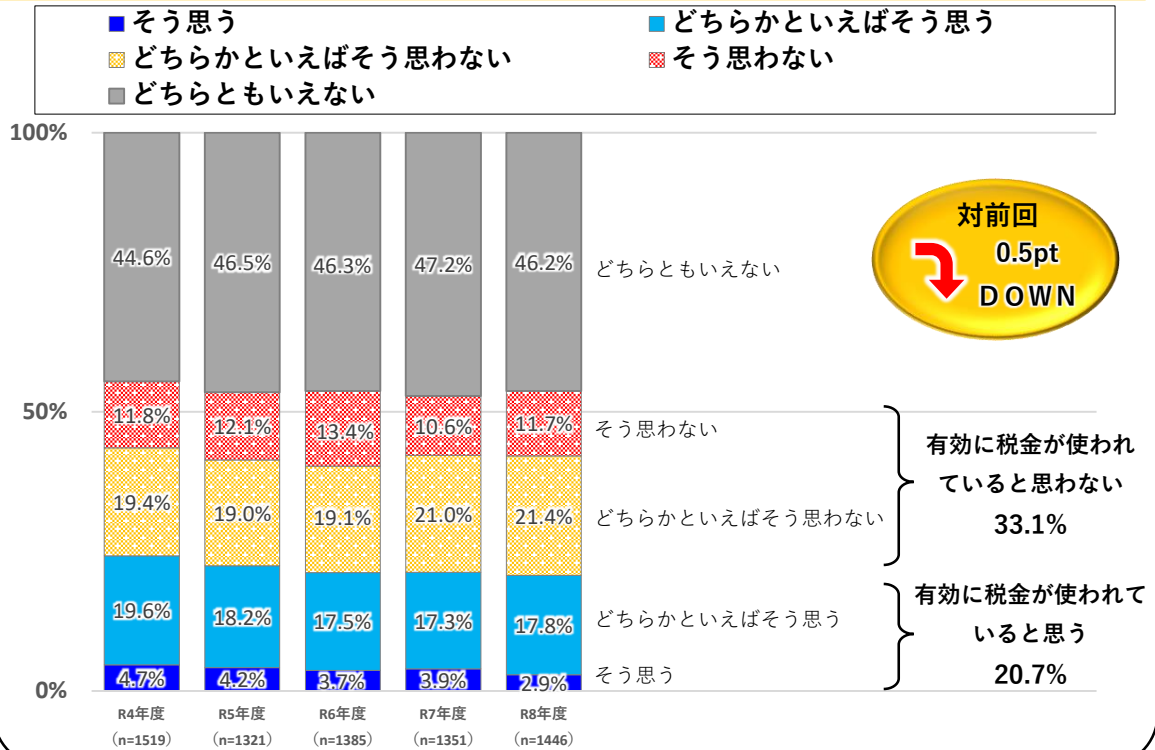
手続きのデジタル化が進んでいないと思う理由

「手続きのデジタル化が進んでいないと思う」と回答した134人に、その理由を5つの選択肢からあてはまるものをいくつでも回答してもらいました。



暮らしぶり

16 まちづくりのために有効に税金が使われていると思うか？



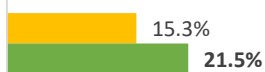
有効に税金が使われていないと思う理由

「有効に税金が使われていると思わない」と回答した470人に、その理由を4つの選択肢からあてはまるものをいくつでも回答してもらいました。

どのように税金が使われているか、
分からない・分かりにくいと感じるから



必要のない分野に、多くの税金が
使われていると感じるから



自分の身近な所に、税金があまり
使われていないと感じるから



その他



■ R7年度 (n=417)

■ R8年度 (n=470)

自由記述意見

●まちづくりに関するご意見・ご提言

このアンケートでは、まちづくりに対する意見や提案について、自由に記述していただく欄を設け、626人の方から、1,085件のご意見・ご提案をいただきました。いただいたご意見・ご提案は、今後のまちづくりに活用していきます。

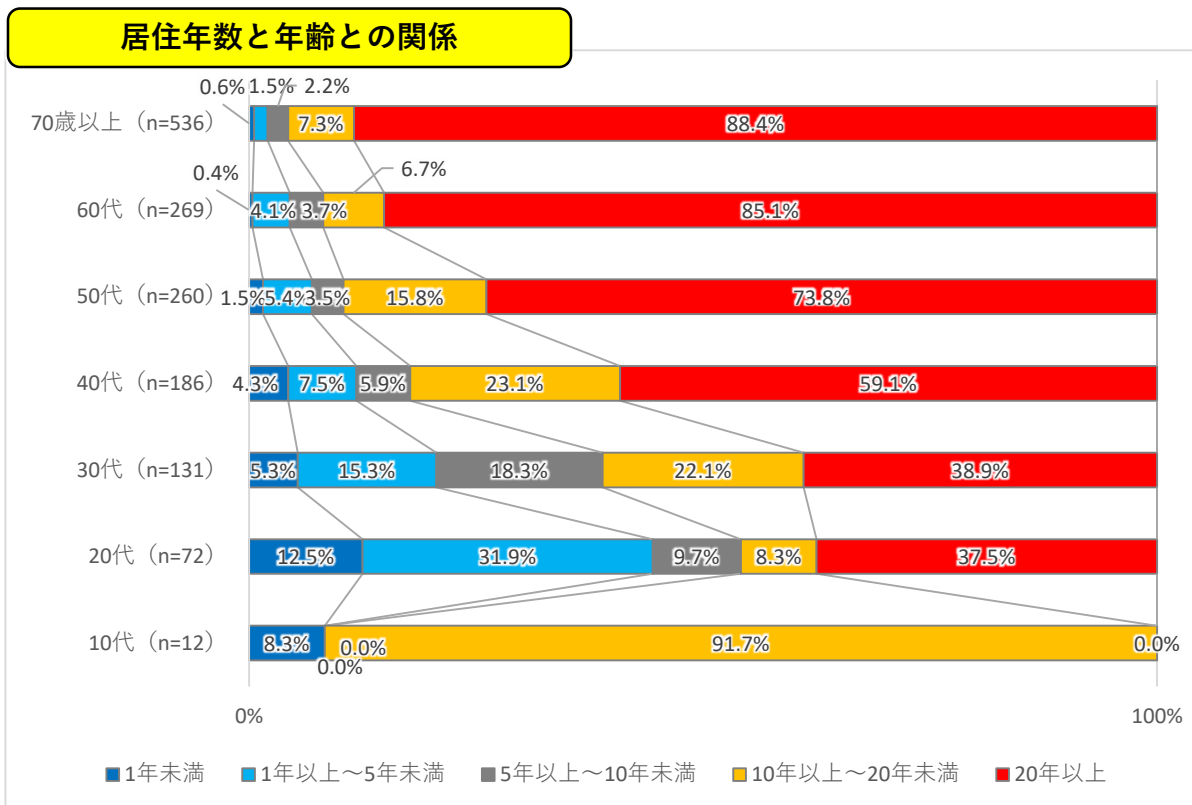
※お一人で複数の項目に関するご意見などをいただいていることがあるため、人数と件数は一致しません。

項 目	主 な 意 見 の 内 容	件 数
産業・雇用、にぎわいに関すること	産業・観光振興、労働環境・就業機会、中心市街地活性化、ばんえい競馬など	156 件
道路環境・交通ネットワーク、水道・下水道、住環境など、都市基盤に関すること	道路網（街路樹含む）の整備、バス・空港等の交通体系、除雪、水道料金、公営住宅など	269 件
まちづくり全般に関すること	行財政運営、アンケートの意義・構成、議員の活動・定数など	116 件
子育て支援・青少年に関すること	保育サービスや医療費、子どもの遊び場（屋内・屋外）など	92 件
公園・緑地、自然環境、廃棄物など、緑化や環境保全・美化に関すること	自然・生活環境の保全、ゴミの排出や回収、公園・緑地の整備・管理など	99 件
学校教育や生涯学習、スポーツなど、教育全般に関すること	小中学校の教育環境・学校給食、スポーツ振興、動物園や総合体育館等の社会教育施設など	88 件
社会保障と税、高齢者、障害、医療・保健など、市民福祉に関すること	国保・介護・生活保護等の社会保障、市民税・固定資産税、高齢者の社会参加や施設サービス、障害者理解の促進、医療体制・コロナワクチンなど	62 件
行政事務・サービス、墓地に関すること	職員の対応、広報・広聴、公共施設の管理など	85 件
地域の活動・支えあいに関すること	地域福祉、コミュニティ活動・施設など	29 件
交通安全、防犯、防災など、安全安心に関すること	交通マナー・交通環境の整備、防犯対策、防災に係る意識・活動・体制など	37 件
その他	他項目に属さない意見	52 件
(計)		1,085 件

資料編

- 属性毎のクロス集計・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P22～P41
- 市民まちづくりアンケート票について・・・・・・・・・・ P42～P53

年齢 と 居住年数

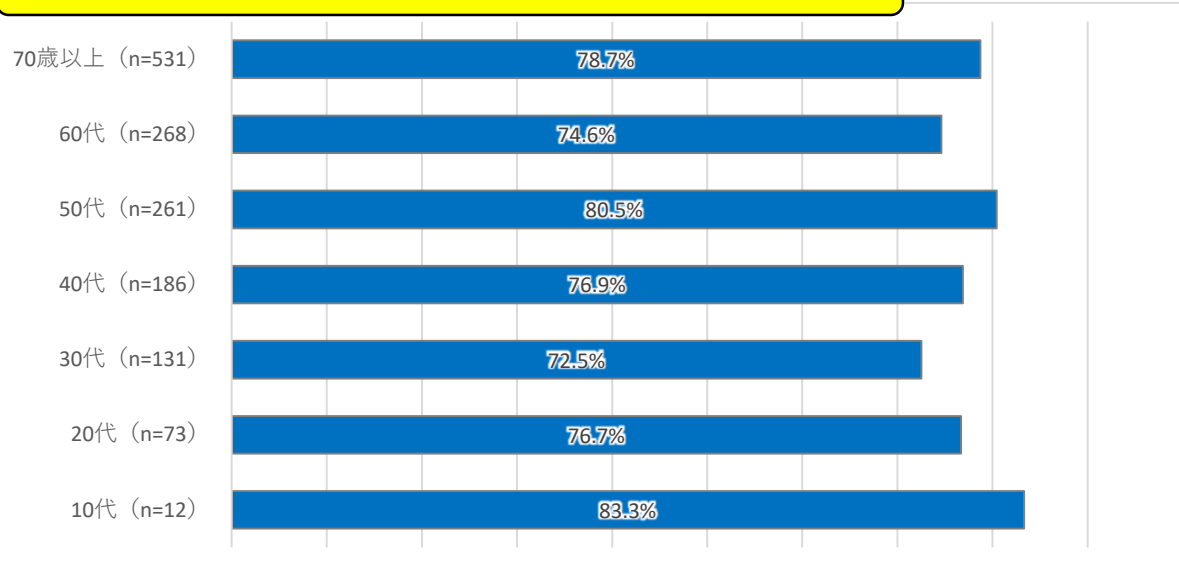


・ 40代以降は、居住年数が20年以上の割合が増加し、10年未満の割合が減少する傾向にあります。

・ 居住地は、就学や就職、転勤、転職などにより左右される側面もあることから、20代・30代では、それ以外の年代と比べて、居住年数が10年未満の割合が多くなっています。

年齢 と 住みごこち

「（どちらかといえば）住みやすい」と回答した割合



住みごこちが悪い理由（上位3つ）

9つの選択肢から2つまで選択可。

※ n = 回答件数

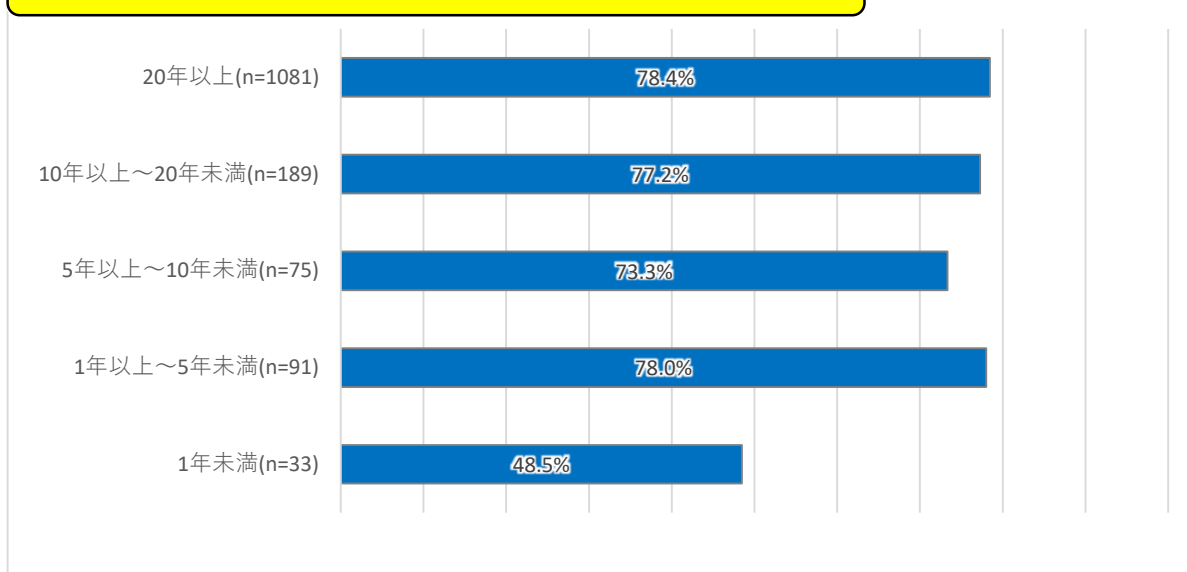
10代(n=2)		20代(n=12)		30代(n=28)		40代(n=32)		50代(n=32)		60代(n=42)		70歳以上(n=53)	
交通の便が良くないから	50%	交通の便が良くないから	33%	出産・子育て環境が充実していないから	36%	交通の便が良くないから	25%	交通の便が良くないから	22%	交通の便が良くないから	26%	交通の便が良くないから	38%
商業施設が充実していないから	50%	働く場所が少ないから	17%	商業施設が充実していないから	25%	出産・子育て環境が充実していないから	19%	商業施設が充実していないから	22%	商業施設が充実していないから	26%	商業施設が充実していないから	28%
		出産・子育て環境が充実していないから	17%	交通の便が良くないから	14%	商業施設が充実していないから	19%	医療・福祉サービスが充実していないから	16%	医療・福祉サービスが充実していないから	17%	医療・福祉サービスが充実していないから	9%
		子どもの教育環境が充実していないから	17%										
		商業施設が充実していないから	17%										

・「（どちらかといえば）住みやすい」と回答した割合は、10代と50代では80%を超える一方、30代では72.5%と最も低くなっています。

・住みごこちが悪い理由としては、全年代で「商業施設が充実していないから」と「交通の便が良くないから」が上位になっているほか、20代から40代では「出産・子育て環境が充実していないから」、50代から70代では「医療・福祉サービスが充実していないから」の項目が上位に位置しています。

居住年数 と 住みごこち

「（どちらかといえば）住みやすい」と回答した割合



住みごこちが悪い理由（上位3つ）

9つの選択肢から2つまで選択可。

※ n = 回答件数

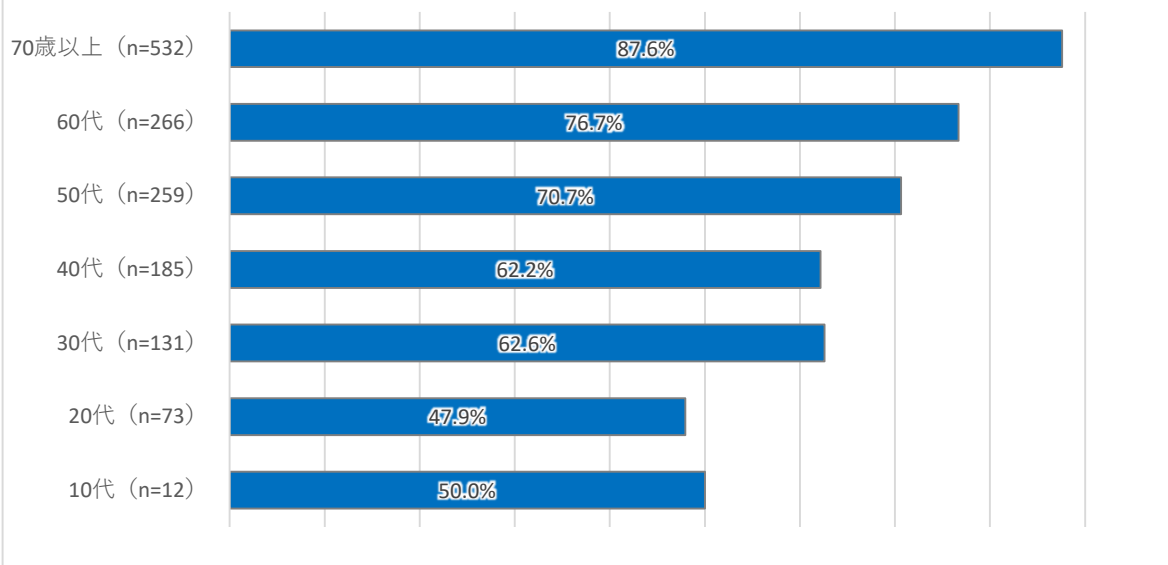
1年未満(n=10)		1年以上～5年未満(n=14)		5年以上～10年未満(n=12)		10年以上～20年未満(n=38)		20年以上(n=129)	
交通の便が良くないから	40%	交通の便が良くないから	29%	交通の便が良くないから	25%	交通の便が良くないから	26%	商業施設が充実していないから	27%
働く場所が少ないから	20%	子どもの教育環境が充実していないから	21%	出産・子育て環境が充実していないから	25%	出産・子育て環境が充実していないから	21%	交通の便が良くないから	26%
出産・子育て環境が充実していないから	10%	出産・子育て環境が充実していないから	14%	商業施設が充実していないから	25%	商業施設が充実していないから	21%	医療・福祉サービスが充実していないから	12%
子どもの教育環境が充実していないから	10%	商業施設が充実していないから	14%						
商業施設が充実していないから	10%								
その他	10%								

・「（どちらかといえば）住みやすい」と回答した割合については、1年未満が48.5%と最も低く、20年以上が78.4%と最も高くなっています。

・住みごこちが悪い理由については、居住年数の長さによらず、「交通の便が良くないから」、「商業施設が充実していないから」、「出産・子育ての環境が充実していないから」が上位に位置しています。

年齢 と 定住意識①

これからも帯広市に「住み続けたい」と回答した割合



住み続けたい理由（上位3つ）

13の選択肢から2つまで選択可。

※ n = 回答件数

10代(n=11)		20代(n=61)		30代(n=142)		40代(n=208)		50代(n=323)		60代(n=354)		70歳以上(n=823)	
気候が好きだから	18%	自然に恵まれているから	18%	仕事上の理由から	18%	気候が好きだから	19%	気候が好きだから	19%	気候が好きだから	24%	自然に恵まれているから	24%
仕事上の理由から	18%	親戚や知人が多いから	15%	自然に恵まれているから	16%	自然に恵まれているから	19%	自然に恵まれているから	17%	自然に恵まれているから	18%	気候が好きだから	24%
		仕事上の理由から	15%	気候が好きだから	15%	親戚や知人が多いから	13%	仕事上の理由から	15%	親戚や知人が多いから	13%	親戚や知人が多いから	14%
						仕事上の理由から	13%						

・「住み続けたい」と回答した割合は、70歳以上で80%を超え、60代で76.7%となっていますが、年齢が下がるとともに減少する傾向にあり、20代では47.9%と最も低くなっています。

・住み続けたい理由としては、年代に関わらず、「気候が好きだから」、「自然に恵まれているから」などの気候の良さや自然環境が上位に位置しています。

・10代～50代では、「仕事上の理由から」も上位に位置しています。

年齢 と 定住意識②

「できれば他の市町村に移りたい」理由（上位3つ）

1 4 の選択肢から 2 つまで選択可。

※ n = 回答件数

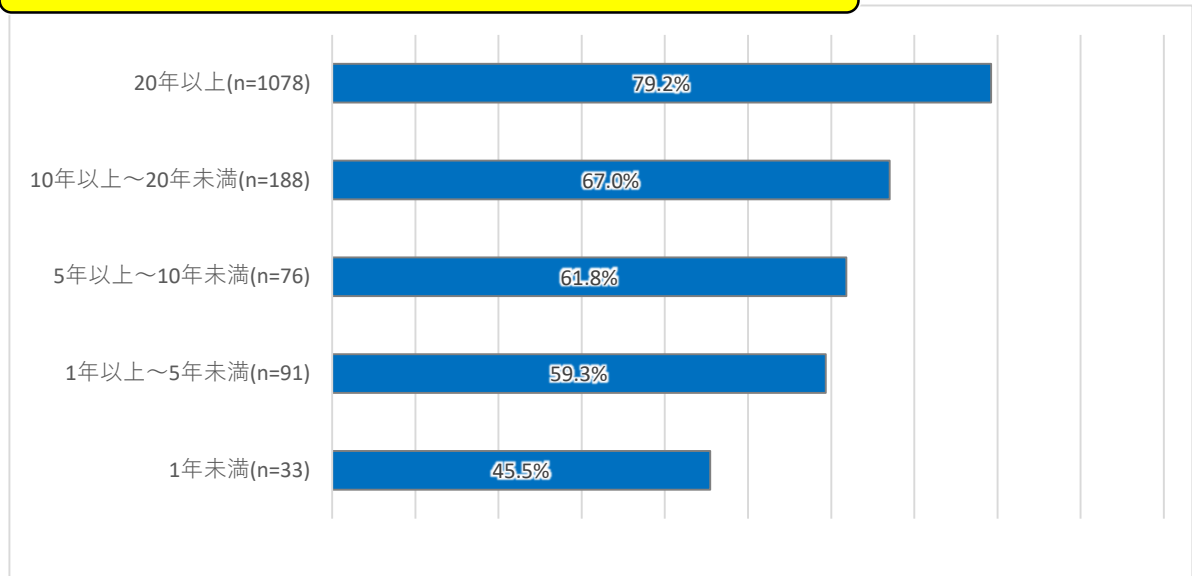
10代(n=8)		20代(n=28)		30代(n=23)		40代(n=47)		50代(n=36)		60代(n=36)		70歳以上(n=13)	
公共サービスの質が低いから	38%	仕事上の理由から	25%	まちに魅力が少ないから	22%	まちに魅力が少ないから	30%	まちに魅力が少ないから	25%	まちに魅力が少ないから	31%	まちに魅力が少ないから	23%
都市的な便利さが不足しているから	25%	都市的な便利さが不足しているから	21%	都市的な便利さが不足しているから	22%	都市的な便利さが不足しているから	23%	都市的な便利さが不足しているから	17%	都市的な便利さが不足しているから	19%	都市的な便利さが不足しているから	23%
仕事上の理由から	13%	まちに魅力が少ないから	14%	公共サービスの質が低いから	17%	公共サービスの質が低いから	17%	仕事上の理由から	11%	公共サービスの質が低いから	11%	知人や親戚が少ないから	15%
気候が嫌いだから	13%	公共サービスの質が低いから	14%					気候が嫌いだから	11%			公共サービスの質が低いから	15%
教育上の理由から	13%							その他	11%				

・他の市町村に移りたい理由としては、全ての年代で「都市的な便利さが不足しているから」が上位に位置しています。

・また、「まちに魅力が少ないから」や「公共サービスの質が低いから」も多く年代で挙げられています。

居住年数 と 定住意識①

これからも帯広市に「住み続けたい」と回答した割合



住み続けたい理由（上位3つ）

1 3 の選択肢から 2 つまで選択可。

※ n = 回答件数

1年未満(n=30)		1年以上～5年未満(n=93)		5年以上～10年未満(n=79)		10年以上～20年未満(n=222)		20年以上(n=1506)	
自然に恵まれているから	20%	自然に恵まれているから	17%	自然に恵まれているから	16%	自然に恵まれているから	20%	気候が好きだから	23%
気候が好きだから	17%	都市的な便利さがあるから	15%	仕事上の理由から	15%	気候が好きだから	18%	自然に恵まれているから	21%
都市的な便利さがあるから	17%	気候が好きだから	14%	気候が好きだから	13%	家族の都合で	14%	親戚や知人が多いから	15%
		家族の都合で	14%	家族の都合で	13%				

・「住み続けたい」と回答した割合は、居住年数が短くなるにつれて減少傾向にあり、20年以上では79.2%であるのに対し、1年未満では45.5%と低くなっています。

・住み続けたい理由としては、居住年数の長さによらず、気候条件や自然環境などの理由が上位に位置しています。

・居住年数が短い人では「都市的な便利さがあるから」が上位に位置し、居住年数が長い人では「親戚や知人が多いから」が理由として挙げられています。

居住年数 と 定住意識②

「できれば他の市町村に移りたい」理由（上位3つ）

14の選択肢から2つまで選択可。

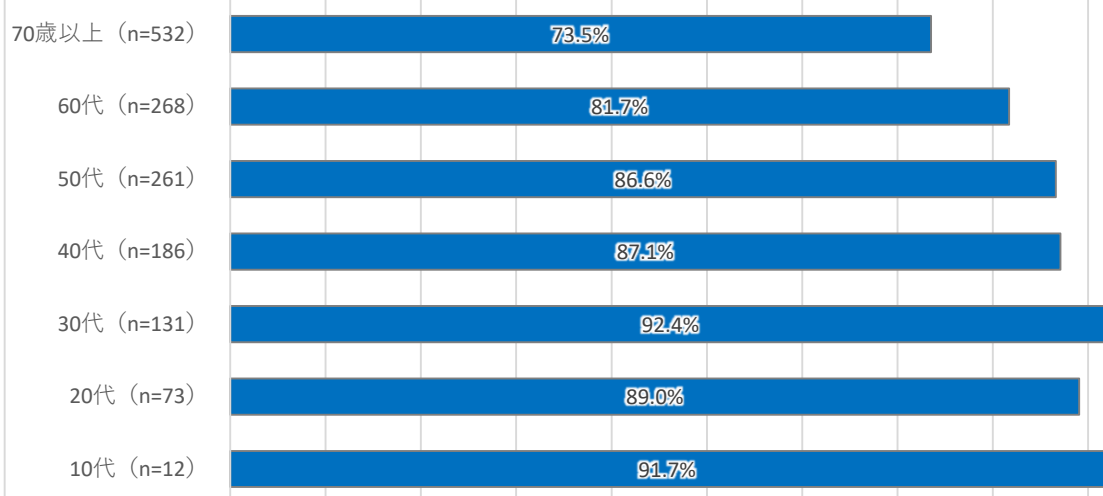
※ n = 回答件数

1年未満(n=17)		1年以上～5年未満(n=24)		5年以上～10年未満(n=27)		10年以上～20年未満(n=27)		20年以上(n=101)	
都市的な便利さが不足しているから	24%	仕事上の理由から	17%	まちに魅力が少ないから	22%	公共サービスの質が低いから	30%	まちに魅力が少ないから	30%
まちに魅力が少ないから	18%	家族の都合で	13%	都市的な便利さが不足しているから	19%	都市的な便利さが不足しているから	22%	都市的な便利さが不足しているから	24%
家族の都合で	12%	まちに魅力が少ないから	13%	公共サービスの質が低いから	11%	まちに魅力が少ないから	19%	公共サービスの質が低いから	12%
知人や親戚が少ないから	12%	公共サービスの質が低いから	13%	その他	11%				
公共サービスの質が低いから	12%								
その他	12%								

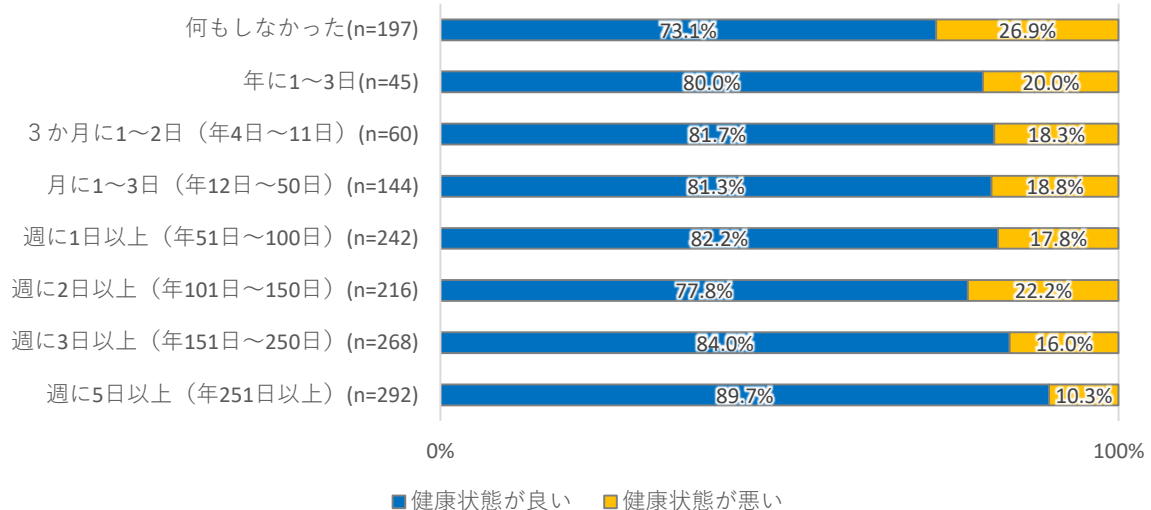
- ・他の市町村に移りたい理由としては、居住年数によらず、「まちに魅力が少ないから」や「公共サービスの質が低いから」が上位に位置しています。
- ・居住年数が5年未満では、「家族の都合で」が、5年以上では、「都市的な便利さが不足しているから」が上位に位置しています。

年齢 と 健康状態

「健康状態が良い（「まあよい」「ふつう」含む）」と回答した割合



（参考）健康状態と運動・スポーツとの関係



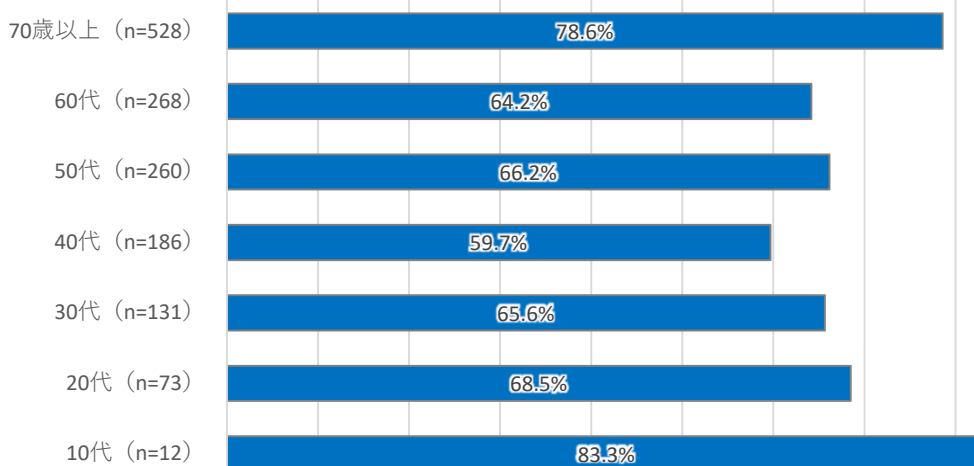
・「健康状態が良い」と回答した割合は、70代を除き80%を超え、10代と30代では90%以上と高い数値を示しています。年代が上がるともに減少する傾向にありますが、70歳以上でも73.5%と、4人に3人程度が肯定的な回答をしています。

（参考）

・健康状態と運動・スポーツの頻度の関係をみると、運動・スポーツをしている人の方が健康状態が良い傾向にあります。

年齢 と 運動・スポーツ

週 1 日以上運動・スポーツを実施した人の割合



運動・スポーツをおこなわなかった理由（上位3つ）

1 3 の選択肢からいくつでも選択可。

※ n = 回答件数

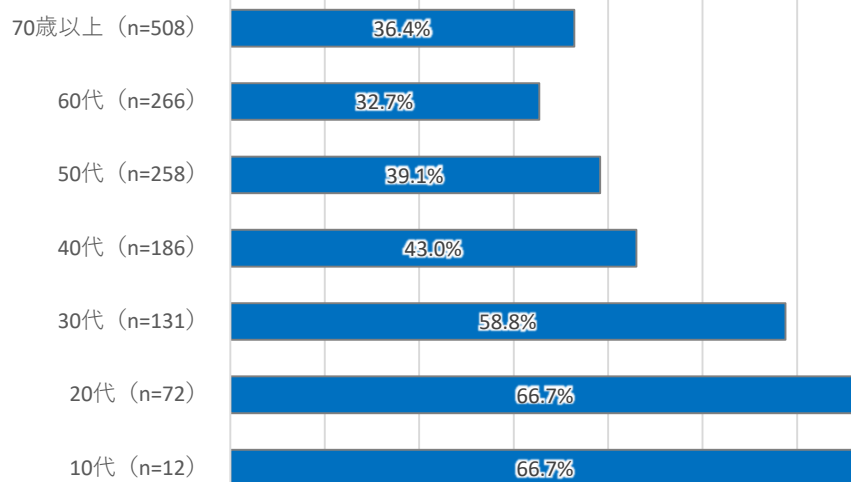
10代(n=4)		20代(n=38)		30代(n=95)		40代(n=150)		50代(n=162)		60代(n=156)		70歳以上(n=186)	
面倒くさいから	50%	面倒くさいから	29%	忙しくて時間がないから	36%	面倒くさいから	25%	忙しくて時間がないから	29%	忙しくて時間がないから	21%	年をとったから	22%
忙しくて時間がないから	25%	忙しくて時間がないから	21%	面倒くさいから	17%	忙しくて時間がないから	25%	生活や仕事で体を動かしているから	20%	生活や仕事で体を動かしているから	17%	病気やけがをしているから	21%
場所や施設がないから	25%	生活や仕事で体を動かしているから	11%	お金に余裕がないから	11%	お金に余裕がないから	11%	面倒くさいから	13%	面倒くさいから	15%	生活や仕事で体を動かしているから	9%
												特に理由はない	9%

・週 1 日以上運動・スポーツを実施した人の割合は、10代と70代で70%を超える一方、40代では59.7%となっています。また、20代から40代にかけて減少傾向にあります。

・運動・スポーツをおこなわなかった理由として、60代までは、「忙しくて時間がないから」や「面倒くさいから」が多くなっているほか、30代と40代においては、「お金に余裕がないから」も上位に位置しています。

年齢 と 生涯学習活動

生涯学習を「おこなった」と回答した割合



生涯学習をおこなわなかった理由（上位3つ）

1 1 の選択肢からいくつでも選択可。

※ n = 回答件数

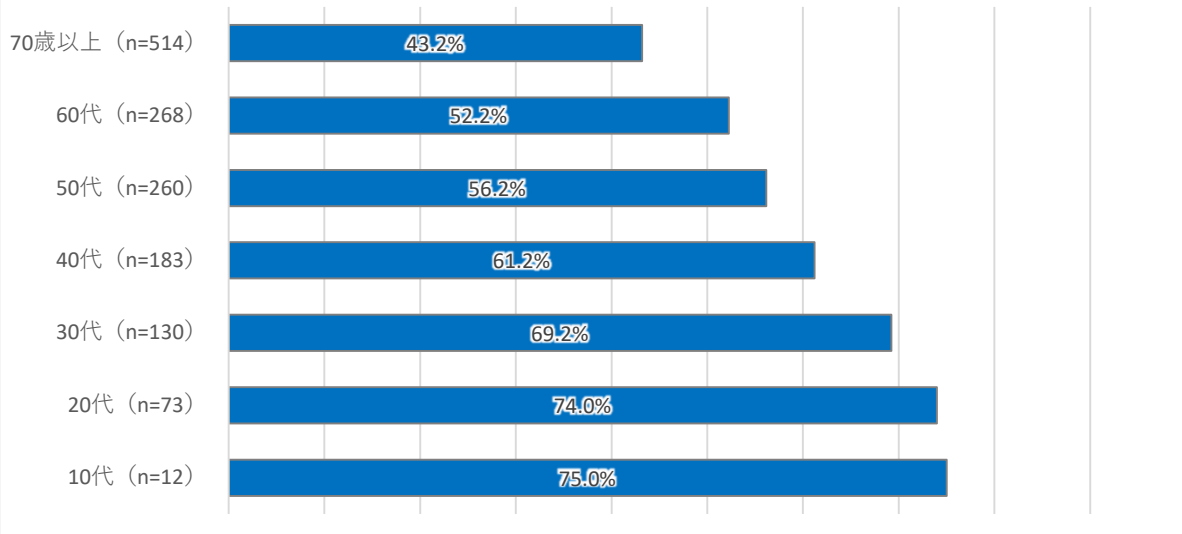
10代(n=4)		20代(n=39)		30代(n=94)		40代(n=217)		50代(n=303)		60代(n=322)		70歳以上(n=507)	
特に理由はない	75%	関心がないから	26%	忙しくて時間がないから	34%	忙しくて時間がないから	22%	きっかけがないから	23%	きっかけがないから	23%	きっかけがないから	22%
きっかけがないから	25%	きっかけがないから	21%	きっかけがないから	24%	きっかけがないから	21%	忙しくて時間がないから	23%	忙しくて時間がないから	19%	特に理由はない	20%
		忙しくて時間がないから	15%	費用がかかるから	12%	費用がかかるから	16%	費用がかかるから	12%	費用がかかるから	11%	関心がないから	10%

・生涯学習を「おこなった」と回答した割合は、年代が上がるにつれて減少する傾向にあります。

・生涯学習をおこなわなかった理由として、60代までは、「忙しくて時間がないから」や「費用がかかるから」が多くなっているほか、全世代で、「きっかけがないから」が上位に位置しています。

年齢 と 文化芸術活動

文化芸術を「直接鑑賞した」と回答した割合



文化芸術を直接鑑賞しなかった理由（上位3つ）

1 1 の選択肢からいくつでも選択可。

※ n = 回答件数

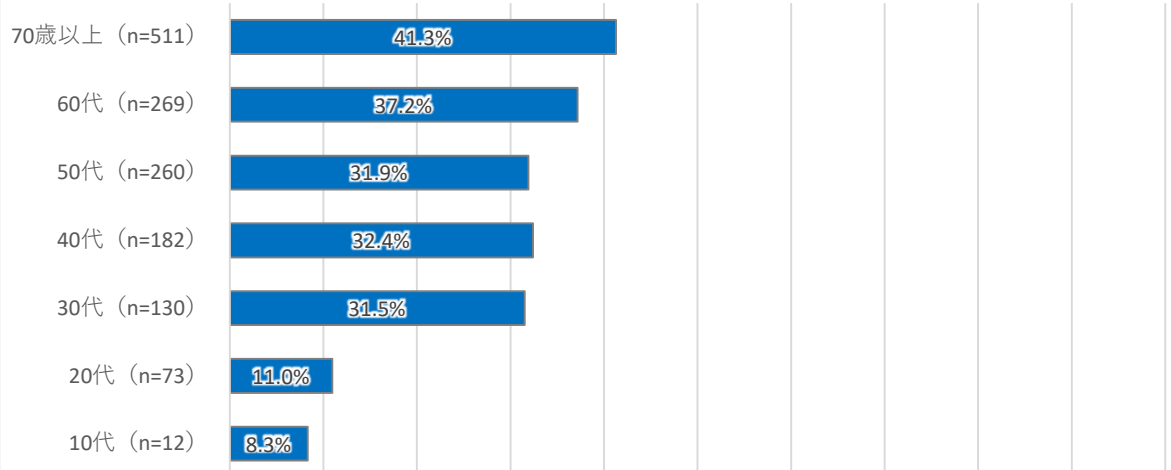
10代(n=4)	20代(n=29)	30代(n=62)	40代(n=115)	50代(n=168)	60代(n=207)	70歳以上(n=408)
近くで希望する公演や展覧会などがおこなわれていないから	25%	24%	32%	27%	21%	24%
公演や展覧会などの情報が入手できないから	25%	24%	19%	23%	21%	16%
関心がないから	25%	14%	11%	13%	12%	14%
特に理由はない	25%					

・文化芸術を「直接鑑賞した」と回答した割合は、年代が上がるにつれ減少していく傾向にあります。

・文化芸術を直接鑑賞しなかった理由では、多くの世代で「忙しくて時間がないから」、「関心がないから」が上位に位置しているほか、50代以上では「テレビ、ラジオ、CD・DVD、インターネットなどにより鑑賞できる（鑑賞した）から」が上位に位置しています。

年齢 と 地域社会活動①

地域社会活動を「おこなった」と回答した割合



取り組んだ地域社会活動の内容（上位3つ）

9つの選択肢からいくつでも選択可。

※ n = 回答件数

10代(n=1)		20代(n=9)		30代(n=57)		40代(n=89)		50代(n=130)		60代(n=146)		70歳以上(n=312)	
町内会活動	100%	町内会活動	44%	子ども会やPTA、青少年の育成など、子どもに関する活動	54%	町内会活動	36%	町内会活動	44%	町内会活動	56%	町内会活動	54%
		その他	22%	町内会活動	30%	子ども会やPTA、青少年の育成など、子どもに関する活動	31%	子ども会やPTA、青少年の育成など、子どもに関する活動	21%	環境美化や自然環境の保全に関する活動	13%	環境美化や自然環境の保全に関する活動	11%
		スポーツ・文化芸術振興に関する活動	11%	スポーツ・文化芸術振興に関する活動	5%	スポーツ・文化芸術振興に関する活動	12%	環境美化や自然環境の保全に関する活動	9%	子ども会やPTA、青少年の育成など、子どもに関する活動	9%	高齢者や障害者支援に関する活動	10%
		環境美化や自然環境の保全に関する活動	11%										
		外国人との交流や国際協力に関する活動	11%										

・地域社会活動を「おこなった」と回答した割合は、70歳以上が41.3%と最も多く、10代・20代では10%程度となっており、年代が下がるにつれ減少していく傾向にあります。

・地域社会活動の内容としては、多くの世代で「町内会活動」が上位に位置しているほか、10代を除く40代以下では「スポーツ・文化芸術振興に関する活動」が、50代以上では「環境美化や自然環境の保全に関する活動」が上位に位置しています。

年齢 と 地域社会活動②

地域社会活動をおこなわなかった理由（上位3つ）

6つの選択肢からいくつでも選択可。

※ n = 回答件数

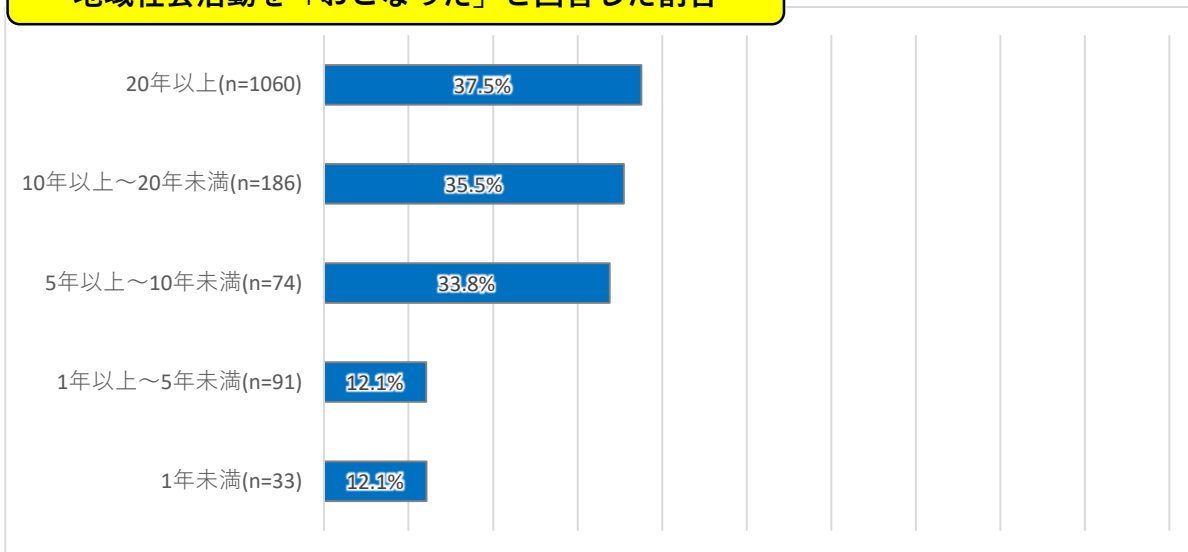
10代(n=14)	20代(n=86)	30代(n=118)	40代(n=165)	50代(n=208)	60代(n=211)	70歳以上(n=341)
一緒に活動する仲間がいないから	29%	43%	36%	38%	32%	27%
関心がないから	21%	23%	25%	26%	25%	23%
関心がある活動がないから	21%	17%	14%	12%	15%	18%

・地域社会活動をおこなわなかった理由としては、年代によらず「関心がないから」「何をしたらよいかわからないから」が多くなっています。

・また、10代～30代では「一緒に活動する仲間がいないから」が、40代以上では「関心がある活動がないから」が上位に位置しています。

居住年数 と 地域社会活動①

地域社会活動を「おこなった」と回答した割合



取り組んだ地域社会活動の内容（上位3つ）

9つの選択肢からいくつでも選択可。

※ n = 回答件数

1年未満(n=9)		1年以上～5年未満(n=14)		5年以上～10年未満(n=35)		10年以上～20年未満(n=97)		20年以上(n=595)	
町内会活動	22%	町内会活動	43%	町内会活動	40%	町内会活動	41%	町内会活動	51%
子ども会やPTA、青少年の育成など、子どもに関する活動	22%	子ども会やPTA、青少年の育成など、子どもに関する活動	21%	子ども会やPTA、青少年の育成など、子どもに関する活動	34%	子ども会やPTA、青少年の育成など、子どもに関する活動	28%	子ども会やPTA、青少年の育成など、子どもに関する活動	12%
スポーツ・文化芸術振興に関する活動	22%	高齢者や障害者支援に関する活動	14%	スポーツ・文化芸術振興に関する活動	9%	環境美化や自然環境の保全に関する活動	8%	環境美化や自然環境の保全に関する活動	11%
環境美化や自然環境の保全に関する活動	22%	環境美化や自然環境の保全に関する活動	14%						

・地域社会活動を「おこなった」と回答した割合は、居住年数が「5年以上～10年未満」から30%を超え、「20年以上」37.5%と最も高くなっている一方、5年未満では、12%程度となっております。

・地域社会活動の内容としては、全ての居住年数で「町内会活動」「子ども会やPTA、青少年の育成など、子どもに関する活動」が上位に入り、「環境美化や自然環境の保全に関する活動」も上位に位置しています。

居住年数 と 地域社会活動②

地域社会活動をおこなわなかった理由（上位3つ）

6つの選択肢からいくつでも選択可。

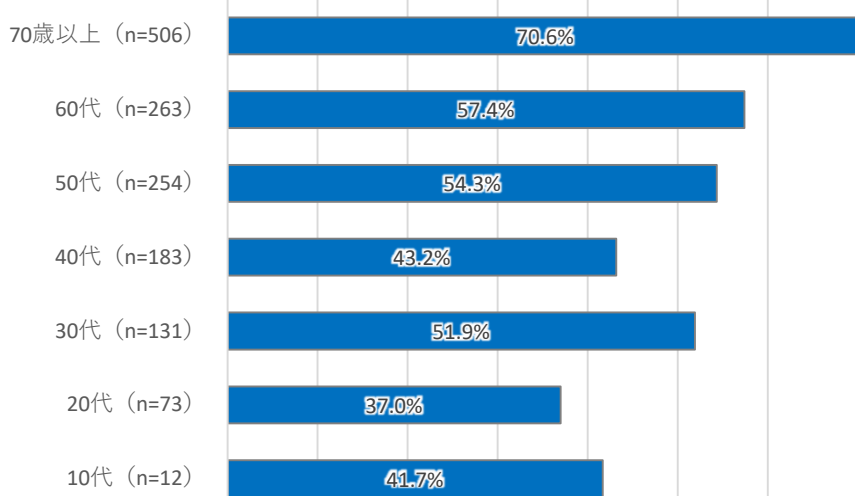
※ n = 回答件数

1年未満(n=37)		1年以上～5年未満(n=102)		5年以上～10年未満(n=59)		10年以上～20年未満(n=144)		20年以上(n=808)	
関心がないから	35%	関心がないから	31%	関心がないから	34%	関心がないから	33%	関心がないから	31%
何をしたらよいかわからないから	32%	何をしたらよいかわからないから	30%	何をしたらよいかわからないから	31%	何をしたらよいかわからないから	19%	何をしたらよいかわからないから	23%
一緒に活動する仲間がないから	19%	一緒に活動する仲間がないから	14%	その他	14%	その他	15%	関心がある活動がないから	15%

- ・ 地域社会活動をおこなわなかった理由としては、全ての居住年数で「関心がないから」、「何をしたらよいかわからないから」が上位に位置しています。

年齢 と 行政情報①

行政情報を「分かりやすく知ることができている」と回答した割合



行政情報の入手方法（上位3つ）

5つの選択肢からいくつでも選択可。

※ n = 回答件数

10代(n=6)		20代(n=33)		30代(n=96)		40代(n=110)		50代(n=216)		60代(n=241)		70歳以上(n=539)	
広報紙から	50%	ラインやフェイスブック、X（エックス）などのSNSから	36%	広報紙から	35%	広報紙から	47%	広報紙から	47%	広報紙から	51%	広報紙から	62%
ラインやフェイスブック、X（エックス）などのSNSから	50%	ホームページから	30%	ラインやフェイスブック、X（エックス）などのSNSから	35%	ラインやフェイスブック、X（エックス）などのSNSから	24%	ホームページから	28%	ホームページから	23%	テレビやラジオから	18%
		広報紙から	24%	ホームページから	23%	ホームページから	20%	ラインやフェイスブック、X（エックス）などのSNSから	17%	ラインやフェイスブック、X（エックス）などのSNSから	13%	ホームページから	13%

・行政情報を分かりやすく知ることができていると回答した割合は、20代が37.0%と最も低くなっており、40代からは年代が上がるにつれ増加する傾向にあります。

・行政情報の入手方法としては、60代以下で「ラインやフェイスブック、X（エックス）などのSNSから」が上位に位置しており、「ホームページから」を含めると各年代で、インターネットを情報源とする人が一定程度みられるものの、20代を除く全ての世代で「広報紙から」が最も多くなっています。

年齢 と 行政情報②

行政情報を分かりやすく知ることができない理由（上位3つ）

5つの選択肢からいくつでも選択可。

※ n = 回答件数

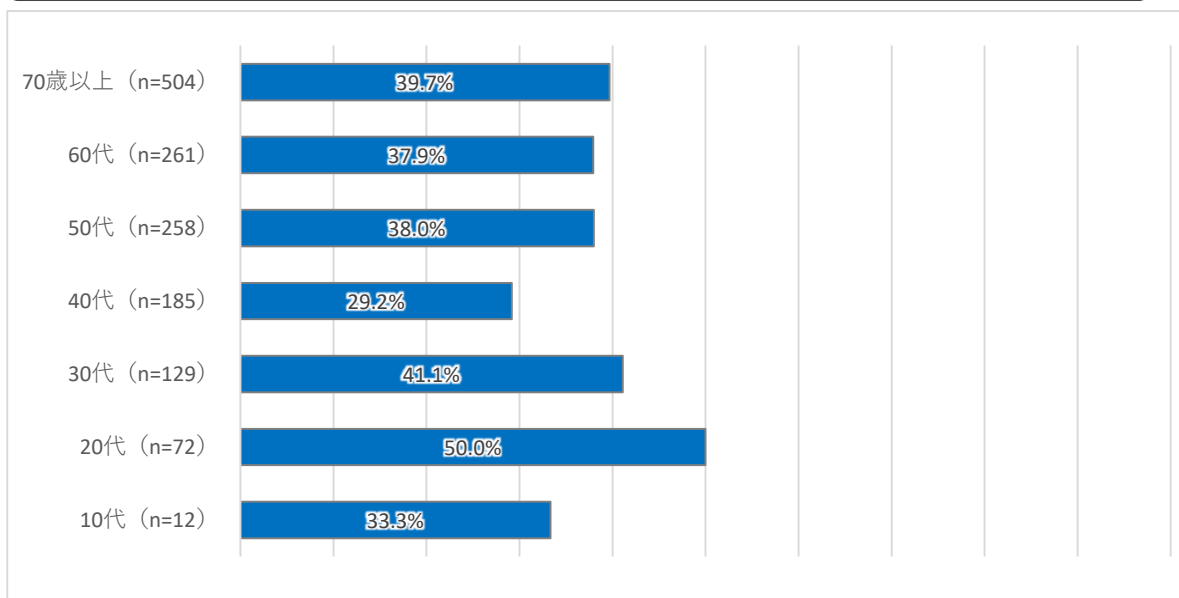
10代(n=8)		20代(n=59)		30代(n=96)		40代(n=173)		50代(n=173)		60代(n=185)		70歳以上(n=196)	
情報が入手しづ らいから	63%	情報が入手しづ らいから	56%	情報が入手しづ らいから	47%	情報が分かりづ らいから	41%	情報が入手しづ らいから	40%	情報が分かりづ らいから	42%	情報が分かりづ らいから	41%
情報が分かりづ らいから	13%	情報が分かりづ らいから	24%	情報が分かりづ らいから	41%	情報が入手しづ らいから	39%	情報が分かりづ らいから	34%	情報が入手しづ らいから	32%	情報が入手しづ らいから	37%
情報の発信が遅 いから	13%	知りたい情報が 発信されていない から	10%	知りたい情報が 発信されていない から	6%	知りたい情報が 発信されていない から	8%	知りたい情報が 発信されていない から	10%	知りたい情報が 発信されていない から	10%	情報の発信が遅 いから	11%
その他	13%					情報の発信が遅 いから	8%						

・行政情報を分かりやすく知ることができない理由としては、年代によらず、「情報が分かりづらいから」「情報が入手しづらいから」の2つが多くを占めています。

・「知りたい情報が発信されていないから」については、そもそも行政情報に興味・関心がない、知ろうとしていないという意見が寄せられていました。

年齢 と 市の手続きのデジタル化

「（どちらかといえば）市の手続きのデジタル化が進んでいる」と回答した割合



市の手続きのデジタル化が進んでいないと思う理由（上位3つ）

5つの選択肢からいくつでも選択可。

※ n = 回答件数

10代(n=1)	20代(n=35)	30代(n=43)	40代(n=52)	50代(n=42)	60代(n=45)	70歳以上(n=48)
その他	100%	40%	49%	44%	40%	38%
	手続きのために来庁が必要だから	手続きのために来庁が必要だから	手続きのために来庁が必要だから	手続きのために来庁が必要だから	手続きのために来庁が必要だから	手続きのために来庁が必要だから
	23%	33%	29%	29%	24%	31%
	窓口の書類を何度も手書きしなければならいから	窓口の書類を何度も手書きしなければならいから	窓口の書類を何度も手書きしなければならいから	窓口の書類を何度も手書きしなければならいから	窓口の書類を何度も手書きしなければならいから	窓口の書類を何度も手書きしなければならいから
	17%	12%	17%	14%	18%	17%
	公共施設の利用予約が窓口や電話にしか対応していないから	手数料や利用料等の支払いがキャッシュレスできないから	手数料や利用料等の支払いがキャッシュレスできないから	手数料や利用料等の支払いがキャッシュレスできないから	公共施設の利用予約が窓口や電話にしか対応していないから	公共施設の利用予約が窓口や電話にしか対応していないから
					18%	
					手数料や利用料等の支払いがキャッシュレスできないから	

・「（どちらかといえば）市の手続きのデジタル化が進んでいる」と回答した割合は、20代が最も高く、40代が最も低くなっています。

・市の手続きのデジタル化が進んでいないと思う理由については、「手続きのために来庁が必要だから」が最も多くなっており、次いで「窓口の書類を何度も手書きしなければならいから」が多くなっています。

年齢 と 税金の使途

「（どちらかといえば）有効に税金が使われている」と回答した割合



有効に税金が使われていないと思う理由（上位3つ）

4つの選択肢からいくつでも選択可。

※ n = 回答件数

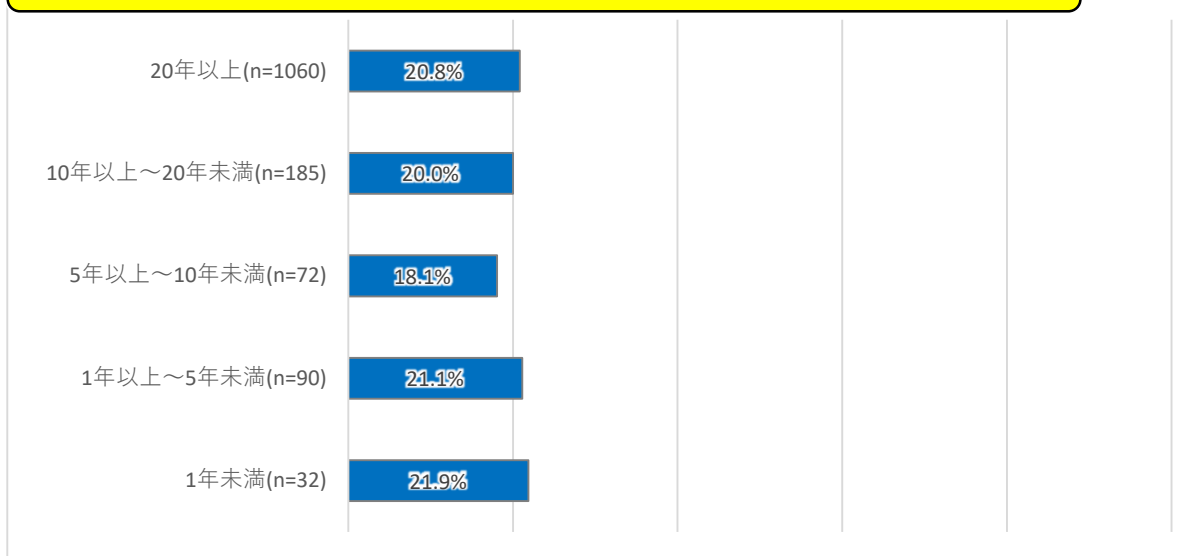
10代(n=4)	20代(n=47)	30代(n=102)	40代(n=138)	50代(n=144)	60代(n=132)	70歳以上(n=171)
どのように税金が使われているか、分からない・分かりにくいと感じるから	75%	47%	44%	46%	49%	50%
自分の身近な所に、税金があまり使われていないと感じるから	25%	36%	34%	37%	32%	33%
	必要のない分野に、多くの税金が使われていると感じるから	9%	13%	12%	15%	14%
	その他	9%				

・「（どちらかといえば）有効に税金が使われている」と回答した割合は、70歳以上が最も高く、40代が最も低くなっています。

・有効に税金が使われていないと思う理由については、全ての世代において、「どのように税金が使われているか、分からない・分かりにくいと感じるから」が最も多く、次いで「自分の身近な所に、税金があまり使われていないと感じるから」となっております。

居住年数 と 税金の使途

「（どちらかといえば）有効に税金が使われている」と回答した割合



有効に税金が使われていないと思う理由（上位3つ）

4つの選択肢からいくつでも選択可。

※ n = 回答件数

1年未満(n=12)		1年以上～5年未満(n=46)		5年以上～10年未満(n=50)		10年以上～20年未満(n=95)		20年以上(n=539)	
どのように税金が使われているか、分らない・分かりにくいと感じるから	50%	自分の身近な所に、税金があまり使われていないと感じるから	39%	どのように税金が使われているか、分らない・分かりにくいと感じるから	44%	どのように税金が使われているか、分らない・分かりにくいと感じるから	49%	どのように税金が使われているか、分らない・分かりにくいと感じるから	48%
自分の身近な所に、税金があまり使われていないと感じるから	33%	どのように税金が使われているか、分らない・分かりにくいと感じるから	37%	自分の身近な所に、税金があまり使われていないと感じるから	38%	自分の身近な所に、税金があまり使われていないと感じるから	34%	自分の身近な所に、税金があまり使われていないと感じるから	34%
必要のない分野に、多くの税金が使われていると感じるから	8%	その他	13%	必要のない分野に、多くの税金が使われていると感じるから	10%	必要のない分野に、多くの税金が使われていると感じるから	15%	必要のない分野に、多くの税金が使われていると感じるから	14%
その他	8%								

・「（どちらかといえば）有効に税金が使われている」と回答した割合は、居住年数1年未満が最も多くなっていますが、全ての居住年数において、20%前後となっています。

・有効に税金が使われていないと思う理由については、居住年数によらず、税金の使途が「どのように税金が使われているか、分らない・分かりにくいと感じるから」と「自分の身近な所に、税金があまり使われていないから」が多くを占めています。

住みたい まち ってどんなまち？

～あなたの声をまちづくりに～

地 区

市民まちづくりアンケート



1. 【あなたご自身に関すること】について、お聞きします。

● 問1～4について、あてはまるものを1つ選んで☑をつけてください。

問1

あなたの性別は？

※人口動態の分析などに活用するためにお聞きするものです。
なお、回答したくない場合は空欄で結構です。

- ☐ 1. 男 ☐ 2. 女 ☐ 3. 左記 1、2 にあてはまらない

問2

あなたの年齢は？（令和8年4月1日現在の年齢）

- ☐ 1. 10代 ☐ 2. 20代 ☐ 3. 30代 ☐ 4. 40代
☐ 5. 50代 ☐ 6. 60代 ☐ 7. 70歳以上

問3

あなたの職業は？（パートタイマーを含む）

- ☐ 1. 会社員・店員 ☐ 2. 商・工・サービス業等の自営業
☐ 3. 農・林・漁業 ☐ 4. 公務員 ☐ 5. 自由業
☐ 6. 主夫・主婦 ☐ 7. 学生 ☐ 8. 無職
☐ 9. その他（_____）

問4

あなたは帯広市にお住まいになって、どのくらいになりますか？

- ☐ 1. 1年未満 ☐ 2. 1年～5年未満
☐ 3. 5年～10年未満 ☐ 4. 10年～20年未満
☐ 5. 20年以上

2. 【住みごこち】について、お聞きします。

● 問5～6について、あてはまるものに☑をつけてください。

問5

帯広市の住みごこちについて、どう感じていますか？

(1つ選んでください)

- ☐ 1. 住みやすい
- ☐ 2. どちらかといえば住みやすい
- ☐ 3. どちらともいえない
- ☐ 4. どちらかといえば住みにくい
- ☐ 5. 住みにくい

こちらを選んだ方は問5－1
にもお答えください。

問5-1

「(どちらかといえば) 住みにくい」と回答した理由は
何ですか？(2つまで選んでください)

- ☐ 1. 働く場所が少ないから
- ☐ 2. 住環境が良くないから
- ☐ 3. 交通の便が良くないから
- ☐ 4. 医療・福祉サービスが充実していないから
- ☐ 5. 出産・子育て環境が充実していないから
- ☐ 6. 子どもの教育環境が充実していないから
- ☐ 7. 商業施設が充実していないから
- ☐ 8. 地域での人間関係が良くないから
- ☐ 9. その他 ()

問6

これからも帯広市に住み続けたいと思いますか？

(1つ選んでください)

- ☐ 1. 住み続けたい
- ☐ 2. できれば他の市町村に移りたい
- ☐ 3. どちらともいえない

こちらを選んだ方は
問6－1にもお答えください。

こちらを選んだ方は問6－2、
問6－3にもお答えください。

問6-1

「住み続けたい」と回答された方にお聞きします。
その理由は何ですか？（2つまで選んでください）

- | | |
|---|---|
| ☐ 1. 広々としているから | ☐ 2. 自然に恵まれているから |
| ☐ 3. 気候が好きだから | ☐ 4. 家族の都合で |
| ☐ 5. 人情が厚く親切だから | ☐ 6. 親戚や知人が多いから |
| ☐ 7. 教育上の理由から | ☐ 8. まちに魅力があるから |
| ☐ 9. 仕事上の理由から | ☐ 10. 都市的な便利さがあるから |
| ☐ 11. 生活費が安いから | ☐ 12. わからない |
| ☐ 13. その他（_____） | |

問6-2

「できれば他の市町村に移りたい」と回答された方にお聞きします。どこに移りたいですか？（1つ選んでください）

- | | |
|--|--|
| ☐ 1. 音更町・芽室町・幕別町 | ☐ 2. 左記 1.以外の十勝管内の町村 |
| ☐ 3. 札幌市 | ☐ 4. 道内他市町村（札幌市・十勝以外） |
| ☐ 5. 首都圏（東京都・埼玉県・神奈川県・千葉県） | |
| ☐ 6. 中部圏（愛知県） | |
| ☐ 7. 近畿圏（大阪府・兵庫県・京都府） | |
| ☐ 8. 他県（_____） ☐ 9. その他（_____） | |

問6-3

「できれば他の市町村に移りたい」と回答された方にお聞きします。その理由は何ですか？（2つまで選んでください）

- | | |
|---|--|
| ☐ 1. 仕事上の理由から | ☐ 2. 家族の都合で |
| ☐ 3. 気候が嫌いだから | ☐ 4. 住宅地が少ないから |
| ☐ 5. 宅地価格が高いから | ☐ 6. 教育上の理由から |
| ☐ 7. 生活費が高いから | ☐ 8. まちに魅力が少ないから |
| ☐ 9. 自然が少ないから | ☐ 10. 知人や親戚が少ないから |
| ☐ 11. 人情が薄く不親切だから | |
| ☐ 12. 都市的な便利さが不足しているから | |
| ☐ 13. 公共サービスの質が低いから | |
| ☐ 14. その他（_____） | |

3. 【暮らしぶり】について、お聞きします。

- 問7～16について、あなたの暮らしにおける活動や実感（イメージでも構いません）についてお答えください。あてはまるものに☒をつけてください。

問7

あなたの現在の健康状態は次のうちどれですか？

（1つ選んでください）

- ☐ 1. よい ☐ 2. まあよい ☐ 3. ふつう
☐ 4. あまりよくない ☐ 5. よくない

問8

あなたが、この1年間に、ウォーキング(通勤・散歩・ぶらぶら歩きなどを含む)、階段昇降などの軽運動やスポーツをした日数を全部合わせると、何日くらいになりますか？（1つ選んでください）

- ☐ 1. 週に5日以上（年251日以上） ☐ 2. 週に3日以上（年151～250日）
☐ 3. 週に2日以上（年101～150日） ☐ 4. 週に1日以上（年51～100日）
☐ 5. 月に1～3日（年12～50日） ☐ 6. 3か月に1～2日（年4～11日）
☐ 7. 年に1～3日 ☐ 8. 何もしなかった

→ こちらを選んだ方は問8－1にもお答えください。

問8-1

週に1日以上、運動・スポーツをしなかった方にお聞きします。
その理由は何ですか？（あてはまるものをいくつでも選んでください）

- ☐ 1. 忙しくて時間がないから ☐ 2. 病気やけがをしているから
☐ 3. 年をとったから ☐ 4. 場所や施設がないから
☐ 5. 仲間がいないから ☐ 6. 指導者がいないから
☐ 7. お金に余裕がないから ☐ 8. 運動・スポーツが嫌いだから
☐ 9. 面倒くさいから ☐ 10. 生活や仕事で体を動かしているから
☐ 11. 感染症の予防のため活動を控えたから
☐ 12. その他（）
☐ 13. 特に理由はない

問9

自らするスポーツ以外に、この1年間でのあなたのスポーツとの関わりについてお聞きします。次の中からあてはまるものをお選びください。（あてはまるものをいくつでも選んでください）

- ☐ 1. スポーツを観戦した（テレビ・ラジオ・インターネット等での視聴を含む）
- ☐ 2. スポーツの指導や大会の運営など、運動やスポーツに関するボランティア活動をおこなった
- ☐ 3. その他（_____）
- ☐ 4. 何もしていない

問10

あなたは、この1年間に「生涯学習※」をおこないましたか？

- ☐ 1. おこなった
- ☐ 2. おこなっていない ……………→

こちらを選んだ方は問10－1にもお答えください。

※「生涯学習」について

この調査における「生涯学習」とは、下記のような学校教育から社会教育、地域社会などで学ぶ様々な学習活動のことをいいます。

- ・ 趣味的なもの（音楽、美術、華道、舞踊、書道、レクリエーション活動など）
 - ・ 教養的なもの（文化、歴史、科学、語学など）
 - ・ 社会問題に関するもの（社会・時事、国際、環境など）
 - ・ スポーツ・健康づくり（健康法、医学、栄養、ジョギング、水泳など）
 - ・ 家庭生活に役立つ技能の習得（料理、洋裁、和裁、編み物など）
 - ・ 育児・教育（家庭教育、幼児教育、教育問題など）
 - ・ 就職や転職のために必要な知識・技能（就職や転職に関係のある知識の習得や資格の取得など）
 - ・ 職業において必要な知識・技能（現在の仕事のスキルアップや仕事に関係のある知識の習得・資格の取得など）
 - ・ 情報通信分野の知識・技能（SNSの利用の仕方など）
 - ・ ボランティア活動のために必要な知識・技能
 - ・ 自然体験や生活体験などの体験活動
- など

問10-1

生涯学習を「おこなっていない」と回答された方にお聞きします。
その理由は何ですか？次の中からあてはまるものをお選びください。
(あてはまるものをいくつでも選んでください)

- ☐ 1. 忙しくて時間がないから
- ☐ 2. きっかけがないから
- ☐ 3. 身近なところに学習する場がないから
- ☐ 4. 費用がかかるから
- ☐ 5. 一緒に学習する仲間がいないから
- ☐ 6. 内容・時間・場所・費用などの必要な情報を入手できないから
- ☐ 7. 学習したい内容の講座が開設されていないから
⇒具体的に（学習したい内容：_____）
- ☐ 8. 感染症の予防のため活動を控えたから
- ☐ 9. 関心がないから
- ☐ 10. その他（_____）
- ☐ 11. 特に理由はない

問11

あなたは、この1年間に、文化芸術を直接鑑賞※したことはありますか？

- ☐ 1. ある
- ☐ 2. ない

こちらを選んだ方は問11-1
にもお答えください。

※文化芸術の「直接鑑賞」について

この調査における「文化芸術を直接鑑賞」とは、会場等に赴き、直接、下記のような作品を鑑賞することをいいます。

- ・音楽（オペラ、オーケストラ、室内楽、合唱、吹奏楽、ジャズ、ポップス、ロック、歌謡曲など）
- ・美術（絵画、版画、彫刻、工芸、陶芸、書、写真など）
- ・演劇（現代演劇、人形劇、ミュージカルなど）
- ・舞踊（日本舞踊、バレエ、モダンダンス、コンテンポラリーダンスなど）
- ・映画（アニメを含む）
- ・コンピュータや映像を活用したアート（メディアアートなど）
- ・伝統芸能（雅楽、能楽、文楽、歌舞伎、詩吟など）
- ・芸能（講談、落語、浪曲、漫才など）
- ・歴史的な建物や遺跡（建造物、遺跡、名勝地（庭園など）の文化財） など

問11-1

文化芸術を「直接鑑賞したことはない」と回答された方にお聞きします。その理由は何ですか？
次の中からあてはまるものをお選びください。
(あてはまるものをいくつでも選んでください)

- ☐ 1. 近くで希望する公演や展覧会などがおこなわれていないから
⇒具体的に(希望する内容: _____)
- ☐ 2. 入場料・交通費など費用がかかり過ぎるから
- ☐ 3. 公演や展覧会などが人気で、チケットの入手が困難だから
- ☐ 4. 忙しくて時間がないから
- ☐ 5. 公演や展覧会などの情報が入手できないから
- ☐ 6. 一緒に行く仲間がいないから
- ☐ 7. テレビ、ラジオ、CD・DVD、インターネットなどにより鑑賞できる(鑑賞した)から
- ☐ 8. 感染症の予防のため活動を控えたから
- ☐ 9. 関心がないから
- ☐ 10. その他(_____)
- ☐ 11. 特に理由はない

問12

あなたは、この1年間に、作品の創作や習い事といった、文化芸術に関わる活動※をしたことはありますか？

- ☐ 1. ある
- ☐ 2. ない

※「文化芸術に関わる活動」について

この調査における「文化芸術に関わる活動」とは、下記のような活動をいいます。

- ・音楽、演劇、舞踊、映画などの作品の創作または出演(裏方含む)
- ・美術作品(絵画、イラスト、版画、彫刻、工芸、陶芸、書、写真など)や文学作品(詩、小説、エッセイなど)の創作
- ・音楽、舞踊、茶道、華道、書道などの部活動、サークル、習い事の参加
- ・地域の芸能や祭りへの参加
- ・子どもの文化芸術体験のための支援活動
- ・美術館・博物館などにおける案内や作品解説などの支援活動(ボランティア)
- ・音楽祭・映画祭などの開催のための支援活動(ボランティア)
- ・歴史的な建物や遺跡などを保存・活用するための支援活動(ボランティア) など

問13

あなたは、この1年間に地域社会活動（町内会・PTA・ボランティアなどの活動）をおこないましたか？

☐ 1. おこなった> こちらを選んだ方は問13-1にもお答えください。

☐ 2. おこなっていない> こちらを選んだ方は問13-2にもお答えください。

問13-1

地域社会活動を「おこなった」と回答された方にお聞きします。
どのような活動をどの程度（頻度）おこないましたか？
（おこなった活動について「活動の頻度」欄に☑をしてください。
活動の種類のうち、おこなっていないものについては、頻度の☑は
不要です。）

活動の種類	活動の頻度		
	週に 数回程度	月に 数回程度	年に 数回程度
1. 町内会活動	☐	☐	☐
2. 子ども会やPTA、青少年の育成など、子どもに関する活動	☐	☐	☐
3. 食生活改善や運動指導など、健康づくりに関する活動	☐	☐	☐
4. スポーツ・文化芸術振興に関する活動	☐	☐	☐
5. 高齢者や障害者支援に関する活動	☐	☐	☐
6. 環境美化や自然環境の保全に関する活動	☐	☐	☐
7. 地域の防犯や交通安全、防災に関する活動	☐	☐	☐
8. 外国人との交流や国際協力に関する活動	☐	☐	☐
9. その他（_____）	☐	☐	☐

問13-2

地域社会活動を「おこなっていない」と回答された方にお聞きします。その理由は何ですか？
（あてはまるものをいくつでも選んでください）

- ☐ 1. 関心がないから
- ☐ 2. 何をしたらよいかわからないから
- ☐ 3. 関心がある活動がないから
- ☐ 4. 一緒に活動する仲間がいないから
- ☐ 5. 感染症の予防のため活動を控えたから
- ☐ 6. その他（_____）

問14

あなたは、市からのお知らせや手続きなどの行政情報を
分かりやすく知ることができていると思いますか？

☐ 1. 思う

こちらを選んだ方は問14-1にもお答えください。

☐ 2. 思わない

こちらを選んだ方は問14-2にもお答えください。

問14-1

行政情報を分かりやすく知ることができていると「思う」
と回答された方にお聞きします。

行政情報をどのように入手していますか？

(あてはまるものをいくつでも選んでください)

- ☐ 1. 広報紙から
- ☐ 2. ホームページから
- ☐ 3. ラインやフェイスブック、X（エックス）などのSNSから
- ☐ 4. テレビやラジオから
- ☐ 5. その他（_____）

問14-2

行政情報を分かりやすく知ることができていると「思わない」
と回答された方にお聞きします。その理由は何ですか？

(あてはまるものをいくつでも選んでください)

- ☐ 1. 情報が入手しづらいから
- ☐ 2. 情報が分かりづらいから
- ☐ 3. 知りたい情報が発信されていないから
⇒具体的に（知りたい情報：_____分野）
- ☐ 4. 情報の発信が遅いから
- ☐ 5. その他（_____）

問15

あなたは、市の手続きのデジタル化※が進んでいると思いますか？
(1つ選んでください)

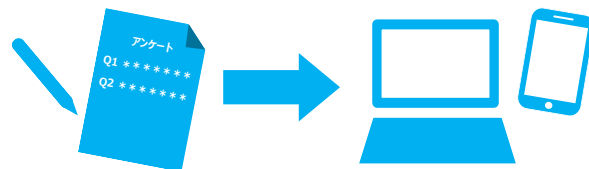
- ☐ 1. 進んでいる
- ☐ 2. どちらかといえば進んでいる
- ☐ 3. どちらともいえない
- ☐ 4. どちらかといえば進んでいない
- ☐ 5. 進んでいない

こちらを選んだ方は問15-1にもお答えください。

※手続きの「デジタル化」について

この調査における手続きの「デジタル化」とは、下記のようなデジタル技術の活用により市の手続きが便利に利用できるようになることをいいます。

- ・各種の申請や公共施設予約などの手続きが、パソコンやスマートフォンから、24時間いつでも、どこからでもおこなえる。
- ・申請や届出等の用紙の記載が不要となり、手間や所要時間が少なくなる。
- ・公共料金や税金、手数料等がキャッシュレスで支払える。 など

**問15-1**

市の手続きのデジタル化が「(どちらかといえば) 進んでいない」と回答された方にお聞きします。その理由は何ですか？
(あてはまるものをいくつでも選んでください)

- ☐ 1. 手続きのために来庁が必要だから
- ☐ 2. 窓口の書類を何度も手書きしなければならないから
- ☐ 3. 公共施設の利用予約が窓口や電話にしか対応していないから
- ☐ 4. 手数料や利用料等の支払いがキャッシュレスでできないから
- ☐ 5. その他 (_____)

問16

あなたは、まちづくりのために、有効に税金が使われている
と思いますか？（1つ選んでください）

- ☐ 1. そう思う
- ☐ 2. どちらかといえばそう思う
- ☐ 3. どちらともいえない
- ☐ 4. どちらかといえばそう思わない
- ☐ 5. そう思わない

こちらを選んだ方は
問16-1にも
お答えください。

問16-1

有効に税金が使われているかについて「（どちらかといえば）
そう思わない」と回答された方にお聞きします。
その理由は何ですか？
（あてはまるものをいくつでも選んでください）

- ☐ 1. どのように税金が使われているか、分からない・分かりにくいと
感じるから
- ☐ 2. 必要のない分野に、多くの税金が使われていると感じるから
⇒具体的に（必要のない分野：_____分野）
- ☐ 3. 自分の身近な所に、税金があまり使われていないと感じるから
- ☐ 4. その他（_____）

<参考：帯広市の取り組みについて>

毎年「広報おびひろ」の4月号に市の予算の概要を掲載しています。また、下記
QRコードを読み取るか、帯広市のホームページにて「1023163」と検索すると、
「広報おびひろ令和8年4月号」を確認いただけます。



※QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。

4. 【まちづくりに関するご意見・ご提言】

これからのまちづくりについて、ご意見・ご提言がありましたら、どのような内容でも結構ですので、以下にご記入ください。

アンケートはこれで終了です。ご協力ありがとうございました。

記入漏れがないかご確認いただき、同封の返信用封筒に入れ、令和8年5月18日（月）までにポストに投函してください。
※切手は不要です。

このアンケートに関して、ご不明な点がありましたら、下記までお問合せください。

お問合せ先

帯広市 政策推進部 企画室 企画課

〒080-8670 帯広市西5条南7丁目1番地

電話：0155-65-4105

FAX：0155-23-0151

E-mail：plan@city.obihiro.hokkaido.jp

令和8年度市民まちづくりアンケート

（集計結果）



令和8年7月

帯 広 市

政策推進部 企画室企画課

〒 080-8670

帯広市西5条南7丁目1番地

TEL 0155-65-4105

FAX 0155-23-0151

E-Mail plan@city.obihiro.hokkaido.jp